慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学環境情報研究所1992年度年次報告書
Sub Title	Annual report 1992 Keio Institute of Environmental Information, Keio University
Author	慶應義塾大学環境情報研究所(Keio gijuku daigaku kankyo joho kenkyujo)
Publisher	湘南藤沢学会
Publication year	1993-06
Jtitle	慶應義塾大学環境情報研究所年次報告書 (Annual report, Keio Institute of Environmental Information, Keio University).
JaLC DOI	
Abstract	本書は、1992年度の環境情報研究所における研究コンソーシアムの実情、共同研究者の受入状況、学会や地域社会への貢献の内容、研究環境整備の様子や研究所員個人ごとの研究業績等などを報告したものである。
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=09195637-1992

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

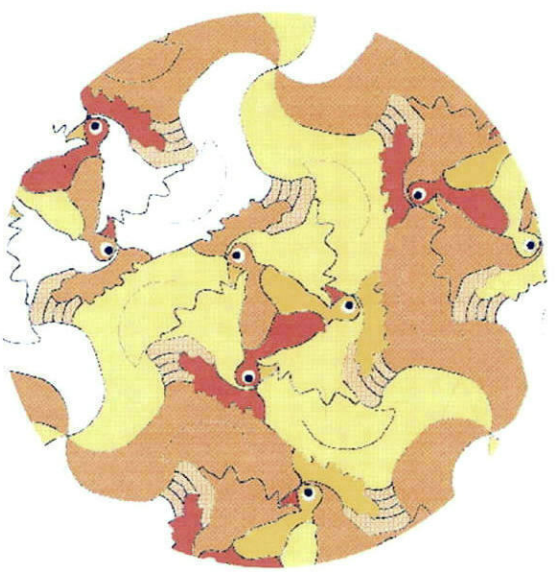
The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ISSN 0919-5637

慶應義塾大学環境情報研究所
1992年度　年次報告書

Annual Report 1992

Keio Institute of Environmental Information
Keio University



The frontpage is designed by aly.

SFC
3
31-07
1-A72 c2

年次報告書の発行にあたって

1990年4月に湘南藤沢の地に開設された環境情報学部に、直属の形で正式に環境情報研究所が発足したのは1991年のことである。大学の使命として、研究の先端性を維持することは学部設立の理念の一つであり、新しい問題発見・解決型の教育にとっても不可欠なことである。環境情報研究所は最先端の研究を円滑に遂行し、一層の進展を図ると共に大学が担う社会的な責任の一端を果たすために設立されたものである。

環境情報研究所の具体的な役割は、(i) 研究コンソーシアム体制による先端研究開発の実施、(ii) 研究者の育成、(iii) 大学の教育・研究環境改善への寄与、(iv) 大学の活性化・近代化の支援、(v) 先端産業の育成、(vi) 地域社会への貢献、などである。この中でもっとも重要な役割は研究コンソーシアムの遂行である。

研究コンソーシアムは大学・企業・行政機構が協力し、単独では扱うことの難しい課題を共同研究することによって、優れた研究成果をあげようという試みであるが、大学の教育の質的改善にも大きな貢献が期待されている。

研究コンソーシアムを含む研究所の活動はあくまでも大学主導型の健全なものであり、その成果は公開されるべきものである。そのための一環として、環境情報研究所は年次報告書の発行を決めたものである。本書は年次報告書として最初に出版されたものであるが、1992年度あるいはそれ以前における研究所の活動ならびに研究所員の研究業績を一括して報告したものである。本書を通して、環境情報研究所における研究コンソーシアムの実情、共同研究者の受け入れ状況、学会や地域社会への貢献の内容、研究環境整備の様子ならびに研究所員個人ごとの研究業績等を知ることが出来るはずである。本報告書は正に環境情報研究所と主として環境情報学部における研究者の実質的な研究活動の横顔を映したものといえる。本書を通して、環境情報研究所の活動に興味を持たれた方は、積極的に参加されることを期待している。また、将来の研究所のあり方について建設的なご指導、ご支援をお願いするしだいである。

1993年6月

環境情報研究所
所長　相磯秀夫

慶應義塾大学 環境情報研究所 1992年度 年次報告書

Annual Report 1992 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

目次

1. 1992年度 環境情報研究所活動記録 …… 1

2. 環境情報研究所所員 業績報告 …… 11

1992年度環境情報研究所活動記録

環境情報研究所

1　ＳＦＣ研究コンソーシアム

1. VOICE

参加所員 相磯秀夫,(総合政策・加藤寛), 高橋潤二郎, (総合政策・井関利明), 赤木昭夫, 熊坂賢次, 奥出直人

運営メンバー参加企業 インテルジャパン (株), 日本電気 (株), マイクロソフト (株), ロータス (株),(株) 電通総研

研究メンバー参加企業 (株) イトーキ, インテルジャパン (株), サンワサプライ (株), (株) 電通総研, 日本電気 (株), 日本電信電話 (株), マイクロソフト (株), 三菱電機 (株), 凸版印刷 (株), (株) 日本経済新聞社ロータス (株)

発足日 1992年12月1日

契約金総額 7500万円

2. オープンメディア研究プロジェクト

運営メンバー参加企業 日本ＩＢＭ (株),(株) リコー (中央研究所)

(a) オープン情報ベース

参加所員 斎藤信男, 徳田英幸

研究メンバー参加企業 日本ＩＢＭ (株), (株) 日立製作所, (株) ＰＦＵ,

発足日 1992年12月1日

(b) オープン分散サービス (受託研究からＳＦＣ研究コンソーシアムへ移行)

参加所員 萩野達也

研究メンバー参加企業 オムロン (株), (株) ビクターデータシステムズ, (株) リコー (先駆技術研究所)

発足日 1992年10月1日

(c) 人間情報環境 (サブテーマ「文字情報分析」)

参加所員 渡辺利夫

研究メンバー参加企業 アドバンスト・ペリフェラルズ (株)

発足日 1993年1月1日

契約金総額 2400万円

3. ラストリゾート

参加所員 (総合政策・丸尾直美, 深谷昌弘, 池上直己), 熊坂賢次

研究メンバー参加企業 (契約金) (株) ライフデザイン研究所

発足日 1992 年 10 月 1 日

契約金総額 100 万円

2 受託研究

1. NTT/ICC 構想におけるインター・フェース・デザイン研究プロジェクト 97(03-環 02)

   受託所員名 相磯秀夫, 奥出直人

   委託企業名 (株) 博報堂

   契約金額 12,000,000 円

   契約日 1991,11,1

   契約期間 1991,11,1〜 1992,3,31

2. 知的作業環境としてのハイパーテキストシステムの研究 (03-環 03)

   受託所員名 相磯秀夫, 奥出直人

   委託企業名 トッパン・ムーアシステムズ (株)

   契約金額 2,000,000 円

   契約日 1991,11,7

   契約期間 1991,11,5〜1992,3,31

3. 分散計算機環境研究プロジェクト (03-環 05)

   受託所員名 相磯秀夫, 萩野 達也

   委託企業名 (株) ビクター・データ・システムズ

   契約金額 2,060,000 円

   契約日 1991,12,1

   契約期間 1991,10,1〜19929,30

4. 分散計算機環境研究プロジェクト (03-環 06)

   受託所員名 相磯秀夫, 萩野 達也

   委託企業名 (株) リコー

   契約金額 2,060,000 円

   契約日 1992,1,22

   契約期間 1991,10,1〜19929,30

5. 分散計算機環境研究プロジェクト (03-環 07)

   受託所員名 相磯秀夫, 萩野 達也

   委託企業名 オムロン (株),

契約金額 2,060,000 円

契約日 1991,12,1

契約期間 1991,10,1〜19929,30

6. 分散計算機環境研究プロジェクト (03-環 08)

受託所員名 相磯秀夫, 萩野 達也

委託企業名 富士ゼロックス (株)

契約金額 2,060,000 円

契約日 1992,1,31

契約期間 1991,10,1〜19929,30

7. 分散計算機環境研究プロジェクト (03-環 09)

受託所員名 相磯秀夫, 萩野 達也

委託企業名 日本鋼管 (株)

契約金額 2,060,000 円

契約日 1992,1,22

契約期間 1991,10,1〜19929,30

8. 神奈川県県西部プロジェクト協議会の神奈川県西部総合整備計画に関する研究プロジェクト (03-環 04)

受託所員名 相磯秀夫,(総合政策研究所　井関利明), 熊坂賢次

委託企業名 (株) 博報堂

契約金額 3,500,000 円

契約日 1991,12,1

契約期間 1991,5,1〜1992,3,31

9. 2001 年のコンピューターシステムに関する技術動向の調査 (04-環 01)

受託所員名 相磯秀夫, 有澤誠, 苗村憲司, 福田 忠彦, 武藤 佳恭, 萩野 達也

委託法人名 日本電子工業振興協会

契約金額 11,330,000 円

契約日 1992,8,4

契約期間 1992,8,1〜1992,11,20

10. マルチマディア総合環境基盤ソフトウェアの研究開発プロジェクト (IPA)(04-環 02)

受託所員名 斎藤信男、徳田 英幸, 萩野達也

委託省庁名 通産省

共同研究者　(株) ソニー, オムロン (株), 日本アイ・ビー・エム (株), 横河電機 (株), 富士通 (株),(株) リコー,(株) 日立製作所, 横河ヒューレットパッカード (株),(株) コア, 富士ゼロックス (株)

契約金額 120,000,000 円

契約日 1992,12,1

契約期間 1992,12,1〜1993,3,31

11. 乗用車購入における消費者の欲求分析に関する調査 (04-環 03)

受託所員名 相磯秀夫, 渡辺利夫

委託企業名 (株) 本田技術研究所

契約金額 3,000,000 円

契約日 1993,12,1

契約期間 1992,10,1〜1993,10,31

3 湘南藤沢学会

環境情報研究所 1992 年度湘南藤沢学会発行
RESEARCH MEMORANDOM RESEARCH MONOGRAPH

No	発行日	表題	編集者・著者
IEI-RM 92-001	1992 summer	Notes on Human Interface	安村通晃
IEI-RM 92-002	1992,12,1	環境情報学って何だろう	相磯秀夫
IEI-RM 93-001	1993,2,1	ラピッドプロトタイピングによる手術シミュレーション	千代倉弘明
IEI-RM 93-002	1993,2,7	3 次元測定データからのなめらかな曲面の生成方法	千代倉弘明
IEI-RM 93-003	1993,3,23	交差点における事故原因調査の事例研究	安村, 伊賀, 永井 日垣, 福井, 若林
IEI-RM 93-004	1993,3,31	障害者向けコンピュータ・インターフェイスへの序奏	アクセス研究 安村通晃 (編)

No	発行日	表題	編集者・著者
IEI-MONO 93-001	1993,1	A Record Calculus with a Merge Operater	立木秀樹

4 受け入れ訪問研究員・研究員 (訪問)

氏名	所属	身分	期間	担当
山岸欽也	オムロン (株) システム総合研究所	訪問所員	91,4,1〜92,9,30	萩野
堀切和典	富士ゼロックス (株) システム技術研究所	訪問所員	91,11,1〜93,9,30	
中村雅之	オムロン (株) システム総合研究所	訪問所員	91,10,1〜92,9,30	
小前晋	住友金属工業 (株)	訪問所員	91,10,1〜94,3,31	安村
杉森英夫	住友金属工業 (株)	研究員 (訪問)	91,10,1〜94,3,31	
三田村賢治	日本合成ゴム (株) テクニカルセンター	研究員 (訪問)	91,11,1〜92,8,31	千代倉
森下泰宏	横河ディジタルコンピューター (株)SI 本部	研究員 (訪問)	91,11,1〜93,3,31	村井
中川卓磨	富士通 (株) 情報推進本部	研究員 (訪問)	92,4,1〜95,3,20	大岩
北川和裕	(株) ＳＲＡソフトウェア研究所	研究員 (訪問)	92,4,1〜93,3,31	斎藤
大谷浩司	(株) アックス	訪問所員	92,4,1〜94,3,31	安村
武智洋	横河電機 (株)	訪問所員	92,6,1〜94,5,31	斎藤
和田英彦	横河電機 (株)	訪問所員	92,6,1〜94,5,31	斎藤
曽根順治	(株) 東芝	訪問所員	92,10,1〜94,9,30	千代倉
梅川智彦	JR 東日本 (株)	研究員 (訪問)	92,10,1〜93,9,30	有澤
須賀智	(株) リコー 先駆技術研究所	訪問所員	92,10,1〜93,3,31	萩野
多田征司	横河ヒューレットパッカード (株)	研究員 (訪問)	92,12,1〜94,3,31	斎藤
平林真実	(株) リコー	研究員 (訪問)	92,12,1〜94,3,31	斎藤
藤井敬三	(株) システムコア	研究員 (訪問)	92,12,1〜94,3,31	斎藤
小野諭	日本電信電話 (株)	訪問所員	92,12,1〜94,3,31	斎藤
緒方正暢	日本アイ・ビー・エム (株)	訪問所員	92,12,1〜94,3,31	斎藤

5　第３回市民講座

第１回　「人とコンピュータ」

日時 1992 年 10 月 17 日 (土) 午後 2 時〜4 時

講師 大岩元, 安村通晃

内容 コンピュータを馴らすことができるのか、それとも人が慣れることが必要なのか?

参加人数 117 人

第２回　「コンピュータは考えることができるのか?」

日時 1992 年 10 月 31 日 (土) 午後 2 時〜4 時

講師 古川康一, 石崎俊

内容 コンピュータの理解力は人間と比べてどのくらい頭が良いのでしょうか?

参加人数 108 人

第３回　「コンピュータとコミュニケーション」

日時 1992 年 11 月 28 日 (土) 午後 2 時〜4 時

講師 徳田英幸, 村井純

内容 コンピュータネットワークによるコミュニケーションは世界の人と人との壁をどこまでくずせるか?

参加人数 68 人

6 環境情報研究所活動

1. 研究所会議

(a) 運営会議

第 1 回	1992,4,6	第 6 回	1992,11,25
第 2 回	1992,5,20	第 7 回	1992,12,16
第 3 回	1992,6,17	第 8 回	1993,1,20
第 4 回	1992,9,16	第 9 回	1993,2,17
第 5 回	1992,10,20	第 1 0 回	1993,3,3

(b) 所員会議

第 1 回	1992,5,27	第 5 回	1992,10,21
第 2 回	1992,6,17	第 6 回	1992,11,25
第 3 回	1992,7,15	第 7 回	1993,1,27
第 4 回	1992,9,30	第 8 回	1993,3,10

2. コンソーシアム

(a) 運営協議会

第 1 回	1992,4,3	第 6 回	1992,9,22
第 2 回	1992,4,30	第 7 回	1992,10,13
第 3 回	1992,5,13	第 8 回	1992,10,21
第 4 回	1992,5,27	第 9 回	1992,11,11
第 5 回	1992,7,22	第 1 0 回	1993,1,19

(b) 評価委員会

第 1 回	1992,6,10	第 2 回	1992,11,18

(c) 外部説明会

第 1 回	1992,6,17	第 2 回	1992,12,2

(d) 学内説明会

第 1 回	1992,5,27	第 2 回	1992,11,11

7 研究環境整備

1. 研究用購入機器

- 電子黒板
- 移動式ＯＨＰ
- 会議用テーブル, 椅子

2. 資料の公開

8 研究集会・シンポジウム (於:SFC)

1. 1992 年 5 月 22 日
   情報処理学会アルゴリズム研究会
   参加者 約 50 名
   (有澤)

2. 1992 年 9 月 16 日〜18 日
   日本ソフトウェア科学会第 9 回大会
   参加者 約 300 名
   (大会委員長:相磯秀夫. 運営委員 SFC から多数)

3. 1992 年 11 月 19.20.21 日
   第 9 回「記号論理学と情報科学」研究集会
   文部省科学研究費総合研究 A「モデル理論とその関連分野の総合的研究」の援助を受けた研究集会。
   参加者 63 名
   (立木)

4. 1992 年 11 月 25 日
   "IP Meeting 92"
   IP で接続されている組織の管理者間の情報交換を目的
   参加者 約 350 名
   (ホスト:村井, 加藤. 楠本)

5. 1992 年 12 月 9 日〜11 日
   第 1 回国際シュミレーション外科学会
   参加者 約 200 名
   (千代倉)

9 招待講演 (於:SFC)

1. 1991 年 4 月 19 日
   Shaul Dar 氏 (AT&T ベル研究所)
   話題 ODE:An Object Database and Environment
   招待者 WIDE:村井

2. 1991 年 5 月 30 日
   金出武雄氏 (カーネギーメロン大学コンピュータ科学部教授)
   話題 「夢の無人走行車と惑星無人探査ロボットに向けて」
   招待者 相磯

3. 1991 年 6 月 3 日
   Prof. David J. Farber 氏 (ペンシルバニア大学教授)
   話題 「西暦 2000 年にコンピュータ環境はどう進化するだろうか?」
   招待者 相磯

4. 1991年7月19日
   Dr. デニス・M・リッチー氏 (AT話題 「今、ベル研究所では」招待者 村井

5. 1991年10月7日
   Dr. Joseph Bates(カーネギーメロン大学)
   話題 「Virtual Reality(仮想的現実感)」
   招待者 安村

6. 1991年10月23日
   Alan Rath氏 (ビデオ+コンピュータ彫刻家)
   話題 作品紹介とメディア・アートについて
   招待者 坂根

7. 1991年11月8日
   Mr. Timothy McGoven氏 (メトロライト・スタジオ)
   話題 「ハリウッドでのハイテク映像制作とそのプロセス」
   招待者 相磯・金子

8. 1992年6月8日
   Prof. Robert Garrity氏 (ハワイ大学)
   話題 「21世紀のグローバル・ビレッジにおける日本の挑戦」
   招待者 川勝・森川

9. 1992年6月10日
   吉田康彦氏 (元国連報道官, 現奥羽大学・青山学院大学講師)
   話題 「日本人は『地球市民』になれるか」
   招待者 SFCフランス語教室

10. 1992年6月25日
    リック・アダムス氏
    話題 UNIX関連の話題
    招待者 村井・徳田

11. 1993年6月3日
    Stephen Muggleton氏 (オックスフォード大学)
    話題 「Inductive Logic Programming and its Application」
    招待者 古川・向井

環境情報研究所所員
業績報告

- 氏名 (Name)
  相磯 秀夫 (Hideo Aiso)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  環境情報学, 生活情報論 (Environmental Information Studies, Information and Human Life)

- 研究分野 (Research Areas)
  計算機工学, 次世代コンピュータ, 環境情報学 (Computer Engineering, next-genaration computers, Environmental Information Science)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  環境情報学部長, 環境情報学研究所長 (Dean of the Faculty of Environmental Information, Director of the Keio Institute of Environmantal Inforamation)

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  運輸省運輸政策局運輸政策審議会委員, (財) 神奈川科学技術アカデミー助成審査委員会委員, (財) 東電記念科学研究所審査委員会委員, 日本電信電話電気通信技術委員会委員, 日本学術会議情報工学研究連絡委員会委員, (社) 情報処理学会副会長

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  著書

  1. 電子計算機 I —計算機基礎—(共著, コロナ社,1992 年 4 月)
  2. 次世代コンピュータの新しい可能性 (共著, 共立出版,1992 年 5 月)

  論文等

  1. 様々なオフィス内の情報を統一的に扱うデータベースのモデル：ブリッジモデル (共著, 情報処理学会論文誌 33-4, 1992 年 4 月)
  2. オフィスシステムのための統合データベース (共著, 電子情報通信学会論文誌 J75-D,II,5,1992 年 5 月)
  3. An artificial maximum neural network : a Winner-take-all neuron model forcing the state of the system in a solution domain(共著,Biological Cybernetics, 67, 1992 年 5 月)
  4. Analysis System for Sinhalese Unit Structure (共著,Journal of Experimental and Theoretical Artificial Intelligence, 1, 1992 年 6 月)
  5. Machine Processing of a Natural Language with Interchangeable Phrases(共著, Information Sciences, 66, 1992 年 7 月)
  6. Computing Environment for Simulation Surgery (Proc. of the 1st International Symposium on Simulation Surgery, 1, 1992 年 12 月)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. <学会講演>情報処理の新分野を探る (第 46 回情報処理学会全国大会, 1993 年 3 月)
  2. <学会講演>“環境”と“情報”—新しい学際研究領域 (電気学会全国大会,1993 年 3 月)

- 氏名 (Name)
  赤木昭夫 (Akio Akagi)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  科学技術史, 現代科学論

- 研究分野 (Research Areas)
  科学史, 技術史, 科学技術の創造過程, ソフトウェアエコノミックス

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  Campus Watchers 委員,Carrier Development Programs 委員

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. スティルマン・ドレイク著『ガリレオの思考をたどる』(赤木昭夫 訳) 産業図書,1993 年 3 月 2。
  2. 『情報社会に生きるきみたち』 ポプラ社 1993 年 4 月

- 氏名 (Name)
  有澤 誠 (Makoto Arisawa)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I 講義, 自習, モデルシミュレイション技法, 環境動態論, 交通運輸情報論, 環境情報社会論, 計算機科学特論第 1(理工学研究科兼担)

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータ科学 (ソフトウエア工学, マルティメディア情報処理, アルゴリズム論など)

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  慶應義塾学事振興資金 (1990,1991), 日立ソフトウエアエンジニアリング指定寄付 (1991,1992), 横河電機共同研究 (1991,1992), 日本電気研究委託 (1991,1992), 新日本製鉄研究委託 (1992), 日本電子工業振興協会調査委託 (1991,1992), 東日本旅客鉄道寄付講座共同研究 (1992)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学部運営委員, 研究所運営委員, 教育開発委員会幹事など, 国際センター副所長 (環境情報学部) など

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  電子情報通信学会ソフトウエアサイエンス研究専門委員長 (1990-1992), 同委員 (1992-), 情報処理学会ソフトウエア工学研究連絡委員 (1989-1993), 情報処理学会情報システムカリキュラム調査研究委員 (1991-), 日本電子工業振興協会 (JEIDA)2001 年コンピュータ調査委員 (1990-), 機械システム振興協会マルティメディア委員 (1991-), マルティメディアソフト振興協会マルティメディア白書専門委員 (1992-), ニューメディア振興協会インタラクティヴメディア委員 (1991), 国立歴史民族博物館情報システム委員 (1991-), 日本情報処理振興協会 (IPA) コンサルティング委員 (1992-)

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 有澤訳 ライフゲイムの宇宙 日本評論社 1990
  2. 有澤著 レクリエーショナルプログラミング ソフトバンク 1990
  3. 駒木, 有澤編 続ナノピコ教室 共立出版 1991
  4. 有澤編 クヌース先生のプログラム論 共立出版 1991
  5. 望月, 清水, 有澤共著 情報処理システム 学研情報処理技術速修コースウェア 1991
  6. 有澤, 安村共著 プログラミングガイド Pascal 編 近代科学社 1992
  7. 朝日用語辞典 知恵蔵 1991 年版, 1992 年版, 1993 年版 分担執筆
  8. 丸善ソフトウエア事典 1990 アルゴリズム担当編集
  9. 岩波情報科学辞典 1990 分担執筆
  10. 共立用語辞典 bit 単語帖 1990 分担執筆
  11. 電子協 2001 年のコンピュータシステム技術に関する調査研究 1990,1991 分担執筆
  12. 有澤 D.E. クヌース先生のコンピュータライフ コンピュータソフトウエア 7-2 1990
  13. 有澤 読書案内 パズルゲイム コンピュータソフトウエア 8-5 1991
  14. 安村, 有澤, 斎藤 コンピュータリテラシー教育の一事例 情報処理 32-12 1991

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 有澤他 国際テレビシンポジウム ヒューマンウェア 情報サービス産業協会
2. 安村, 有澤, 斎藤 KEIO SFC におけるコンピュータリテラシー教育 情報処理学会第 32 回プログラミングシンポジウム 1991
3. 有澤 効果的なコンピュータ教育のケイススタディ 情報処理学会計算機教育シンポジウム 1991
4. 安村, 有澤, 斎藤 コンピュータリテラシー教育の課題と現実 情報処理学会計算機教育シンポジウム 1991
5. 斎藤, 有澤, 安村ほか 分散環境を用いた一般情報処理教育 情報処理学会コンピュータと教育研究会 1991
6. 有澤 ペイパレス社会指向の読むだけ機能ラップトップ機について 電子情報通信学会ソフトウエアサイエンス研究会 1992
7. 有澤 再利用ベースのソフトウエア開発保守枠組み 情報処理学会ソフトウエア再利用シンポジウム 1992

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 連載 日本語のドキュメント纂法 月刊情報処理試験 1990 年 6 月号-10 月号
2. 連載 新 遊びのなかの情報処理 月刊情報処理試験 1990 年 12 月号-1992 年 4 月号
3. 連載 マルティメディア情報処理への招待 月刊情報処理試験 1992 年 6 月号-10 月号
4. 連載 やさしい C プログラミング 月刊情報処理試験 1992 年 12 月号-1993 年 4 月号,
5. 連載 ソフトウエアエンジニアのためのひらめき発想法 (全 21 回) Just Moai 1990-91
6. 連載 湘南藤沢キャンパスから (全 6 回) Just Moai 1991-92
7. 連載 海外研究機関訪問シリーズ (全 4 回) just Moai 1992
8. リレー連載 マイケルジャクソンのソフトウエア開発法 (全 9 回, 分担) bit 1990
9. リレー連載 新コンピュータサイエンス入門 (全 16 回, 分担) bit 1991-92
10. アナログの復権? GRAPHICATION 49 1990
11. コンピュータと防災 防災時報臨時増刊 1990
12. 2001 年の CIM/SIS ファクトリオートメーション 9-8 1991

- 氏名 (Name)
  石井威望 (Takemochi Ishii)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  システム論、情報社会論

- 研究分野 (Research Areas)
  システム技術、情報社会システム, 医用工学

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  人事委員会

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本工学アカデミー (理事)、産業構造審議会委員 (通産省), 産業技術審議会委員 (通産省), 郵政審議会郵便部会長 (郵政省)

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  雑誌論文

  1. 「日本の技術革新」イノベーション&I-O テクニーク, 環太平洋産業連関分析学会, 第 3 巻, 第 1 号, 1992 年 1 月
  2. 「フラクタルの概念に基づく提示情報量制御手法」情報処理学会論文誌、情報処理学会, 第 33 巻, 第 2 号,1992 年 2 月共著:小池英樹
  3. 「LIVING WITH THE SMART MACHINE」LEONARDO,1992 年 (万国博覧会出版物)
  4. 「技術革新と世界システム」ファイナンシャル・レビュー, 大蔵省財政金融研究所, 第 25 号,1992 年 12 月
  5. 「フラクラル構造を利用したパターンの解析と生成–試験的研究–」東京都立科学技術大学研究報告、東京都立科学技術大学,No.6,1992 年 12 月 共著:舟久保登、福田収一, 臼井清一
  6. 「技術のパラダイムシフト」テレビジョン学会誌 (第 38 回テレビジョン学会通常総会特別講演),Vol.47,No.1,1993 年 1 月

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
  新聞

  1. 「大学と科学技術政策–情報分野に重点投資を」 日本経済新聞 1992 年 3 月 7 日
  2. 「混沌に進むか秩序を生むか–技術の主役が交代する時代」 産業新聞「正論」欄 1992 年 9 月 5 日

  講演

  1. 「教育の今日的課題とマルチメディア」マルチメディア教材開発養成講座講演主催:文部省生涯学習局,1993 年 1 月、つくば市
  2. 「システム科学の考え方の変化」医学セミナー講演 主催:順天堂大学公衆衛生学教室,1993 年 1 月, 東京
  3. 「21 世紀の新たな産業活動環境をめざして」ニューファクトリーフォーラム講演主催:九州通商産業局,1993 年 1 月、佐世保

4. 「1990年代の技術革新」財政経済理論研修講演 主催:大蔵省財政金融研究所,1993年2月,東京
5. 「経済社会の潮流と今後の産業立地」 新四国経済社会構想推進フォーラム設立総会記念講演会 主催:四国通商産業局,1993年3月,高松

- 氏名 (Name)
  石崎 俊 (Shun Ishizaki)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 1 a,b, パターン情報論, 自然言語論 2 , 人工知能 (理工学部兼担教授)

- 研究分野 (Research Areas)
  自然言語処理, 音声情報処理, パターン認識, 人工知能, 認知科学, 機械学習

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  文部省重点領域研究:対話文理解のための解析手法と 認知意味論的モデルの研究
  文部省一般研究B:発見, 創造過程のモデル化に関する研究

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  Civil Service Orientation Program 委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  文部省学術審議会専門委員, (財) 国際情報化協力センター「情報技術国際標準化推進委員会」委員, (財) 国際情報化協力センター「ＪＩＣＡプロジェクト技術協力調査委 員会」委員長, 日本認知科学会 常任運営委員, 編集委員会委員長, 邦文誌タスクフォース委員長, 電子情報通信学会 編集会議顧問, 人工知能学会 担当編集委員, 機械翻訳国際会議 (MT SUMMIT) プログラム委員, 計算言語学国際会議 (COLING) 組織委員 ,

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 1992 年 10 月　知識知能と情報　近代科学社
  2. 1992 年 10 月　ヒューマンインタフェース オーム社
  3. 1992 年 5 月　Analysis System for Sinhalese Unit Structure, Journal of Experimental Theories for AI, No.1
  4. 1992 年 7 月　Machine Processing of a Natural Language with Interchangeable Phrases, Information Sciences Vol.66, Elsevier Science Publishing Co.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 1992 年 9 月　Finding Optimal Paths in a Public Transportation Network —Genetic Algorithms Approach— First Singapore International Conference on Intelligent Systems,SPICIS'92
  2. 1993 年 3 月 Current Trends on Natural Language Understanding, The First Symposium on Natural Language Processing in Thainland (Invited Paper)
  3. 1993 年 3 月 Natural Language Processing, Seminar Lecture in Japan-Singapore AI Centre, Singapore

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 1992 年 12 月　大学における機械翻訳使用事例　機械翻訳フェア

- 氏名 (Name)
  伊藤滋 (Shigeru Ito)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  景観設計論, 行動環境計画論

- 研究分野 (Research Areas)
  都市計画

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本都市計画学会副会長, 地理情報システム学会会長

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 生活都市の時代, イーストプレス, 伊藤滋・大都市生活構造研究会編著,1992
  2. 未来史のなかのメガシティ, 三田出版, 伊藤滋・佐和隆光共著,1992

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. Key Note Presentation concerning Future Scope of Urban Underground Utilization in Developed Countries, International Symposium of Underground Space Planning and Engineering, ACUUS,Delft University, Netherland,Aug.1992

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 「開かれた建築教育をめざして」建築雑誌, 日本建築学会, 第 107 巻, 第 1335 号, 1992 年 11 月

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
  日本計画行政学会論説賞受賞,1992

- 氏名 (Name)
  岩竹 徹 (Toru Iwatake)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 11M , 音像環境論 , コンピュータミュージック

- 研究分野 (Research Areas)
  作曲, 音響合成/変換, 音響空間デザイン

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  国際交流基金, 国際文化交流事業財団

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  新カリキュラム委員 , 広報委員など

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. NHK スペシャル「アインシュタインロマン」の音楽の一部を担当　1991 年 5 月 27 日放映
  2. "Color Field#1" および"Color Field #2"　銀座和光ホール　1991 年 11 月 15 日ー 22 日
  3. "マントラ"　SFC θ 館オープニングイヴェント　1992 年 7 月
  4. "Beating Piece" 銀座十字屋ホール　1993 年 2 月 11 日
  5. シンポジウム "音と空間" 青山テアトロスンガリー 1992 年 6 月 27 日

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
  雑誌 "コンピュータは音楽を変えるか" メカライフ 31 号 日本機会学会 1993 年 3 月 15 日

- 氏名 (Name)
  江藤 淳 (Jun Eto)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  創作過程論, 表現伝達論, 現代芸術論

- 研究分野 (Research Areas)
  比較文学・比較文化 (Comparative Literature and Culture)

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  夏目漱石の伝記的研究 (「漱石とその時代」第三部を「新潮」に連載中)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  新大学院実行委員会顧問

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本芸術院会員, 日本文芸家協会常務理事, 日本比較文学会・日本ペンクラブ理事, 人事院参与, 国立劇場評議員, 国語審議会正委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  著書 I(文学関係)

1.	「夏目漱石」	昭和 31 年 11 月	東京ライフ社
	増補版	昭和 40 年 6 月	勁草書房
	決定版	昭和 50 年 3 月	新潮社
	文庫版	昭和 54 年 7 月	新潮社
2.	「小林秀雄」	昭和 36 年 11 月	講談社
3.	「成熟と喪失-母の崩壊」	昭和 42 年 6 月	河出書房
4.	「漱石とその時代」I,II	昭和 45 年 8,9 月	新潮社
5.	「漱石とアーサー王伝説」	昭和 50 年 9 月	東京大学出版会
6.	「海は甦える」全五部	昭和 51 年 1 月〜昭和 58 年 12 月	文藝春秋
7.	「自由と禁忌」	昭和 59 年 9 月	河出書房新社
8.	「近代以前」	昭和 60 年 11 月	文藝春秋
9.	「女の記号学」	昭和 60 年 12 月	角川書店
10.	「批評と私」	昭和 62 年 7 月	新潮社
11.	「昭和の文人」	平成 2 年	新潮社
12.	「全文芸時評」(全二巻)	平成 2 年	新潮社
13.	「リアリズムの源流」	平成元年 4 月	河出書房新社
14.	「漱石論集」	平成 4 年 4 月	新潮社
15.	「言葉と沈黙」	平成 4 年 10 月	文藝春秋

他に文学関係の著作多数—「新編江藤淳文学集成」(昭和 59.11〜60.3) 全五巻その他に所収。

著書 II(日米関係論・近現代史研究等)

1.	「アメリカと私」	昭和 40 年 1 月	朝日新聞社
2.	「表現としての政治」	昭和 44 年 7 月	文藝春秋
3.	「アメリカ再訪」	昭和 47 年 4 月	文藝春秋
4.	外務省編	昭和 52.6〜53.7	北洋社
	「終戦史録」新版全六巻・校訂及び解説		
5.	「終戦を問い直す」(「終戦史録」別巻) 編著	昭和 55 年 5 画津	北洋社
6.	「もう一つの戦後史」	昭和 53 年 4 月	講談社
7.	「忘れたことと忘れさせられたこと」	昭和 54 年 12 月	文藝春秋
8.	「一九四六年憲法-その拘束	昭和 55 年 10 月	文藝春秋
9.	「落葉の掃き寄せ-敗戦・占領・検閲と文学」	昭和 56 年 11 月	文藝春秋
	以上二点合本	昭和 63 年 4 月	文藝春秋
10.	「終戦工作の記録」上・下, 編著監修	昭和 61 年 8,9 月	講談社
11.	「占領史録」全四巻, 編著・責任編集		講談社
	第一巻「降伏文書 ‘調印経緯」	昭和 56 年 11 月	
	第二巻「停戦と外交権停止」	昭和 57 年 1 月	
	第三巻「憲法制定経過」	昭和 57 年 5 月	
	第四巻「日本本土進駐」	昭和 57 年 8 月	
12.	「日米戦争は終わっていない」	昭和 61 年 7 月	ネスコ
	同上 新版	昭和 62 年 6 月	ネスコ
13.	「同時代への視線」	昭和 62 年 6 月	PHP 研究所
14.	「昭和の宰相たち」I・II・III	昭和 62.4〜平成 1.1	文藝春秋
15.	「昭和史-その資産と負債」編著, 監修	平成元年 5 月	朝日出版社
16.	「天皇とその時代」	平成元年 7 月	PHP 研究所
17.	「日本よ何処へ行くのか」	平成 3 年 12 月	文藝春秋

論文 (英文論文のみを記す)

1. *An Undercurrent in Modern Japanese Literature,*The Journal of Asian Studies. vol.X X III.No.3.May.1964.
2. *Natsume Soseki,A Japanese Meiji Intellectual,* The American Scholar, vol.X X X VI, No.4,1965.
3. *Modrn Japanese Lterary Criticism.*The Japan Quarterly, vol.X II, No.2,1965.
4. *Post-War Japanese Society,*The London Times, Supplement on Japan, Oct.22,1965.
5. *Japan's shifting Image, Reflections in The American Press,* included in *Discord in the Pacific* (ed. by Henry Rosovsky, Columbia Books, Inc. 1972)pp.213-6.
6. *A Nation Reborn,A Short History of Postwar Japan,* International Society for Educational Information, Inc. 1974(A Booklet.)
7. *The Problem of Dependence, the Psycho-Cultural Foundations of U.S.-Japan Relations,* The Wilson Center Occasional Paper,No.4,March 1980.
8. *The Censorship Operation and Post-war Japanese Literature,* The Wilson Center Occasional Paper, No.8, June 1980.

9. *The Censorship Operation in Occupied,* included in *Press Control Arround the World*(ed. by J.L.Curry and Joan Dassin, Praeger Publishers, 1982) pp.235-53.
10. *Summary,* included in *The Voice of the Writer 1984, Collected Papers of the 47th International P.E.N. Congress in Tokyo*(ed.by The Japan P.E.N. Club, 1986), pp.264-5.
11. *Some Reflection on the Japanese Contribution To Western Arts and Letters,* An Address dellvered at UNESCO Headquarters in Paris,Sept.,28,1988(to be published in the Bullein of the Japan Society, London).

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
  日本芸術院賞 (昭和 51 年), 野間文芸賞 (昭和 45 年), 菊池寛賞 (昭和 45 年), 新潮文芸賞 (昭和 37 年)

- 氏名 (Name)
  大岩 元 (Hajime Ohiwa)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I 講義, 実習, 情報処理言語 II(アルゴリズムとデータ構造), 情報分類検索論, 人工知能論 II

- 研究分野 (Research Areas)
  ヒューマン・コンピュータ・インタラクション, 特にキーボード教育, コンピュータによる発想支援, ソフトウェア工学, 特に要求工学, コンピュータ教育（一般人及びプロフェッショナルを対象とする）

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  Civil Service Orientation Program 委員, 図書委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  情報処理学会「一般情報処理教育」調査研究委員会（文部省委託）代表, 情報処理学会論文誌編集委員, 電子情報通信学会オフィス・システム研究専門委員会委員長, 計測自動制御学会：ヒューマン・インターフェース部会運営委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「HCP チャートエディタ PAN／HCP」情報処理学会論文誌, 情報処理学会, 第３３巻, 第２号, １９９２年２月
  2. 「２ストローク入力のための仮名漢字変換」情報処理学会論文誌, 情報処理学会, 第３３巻, 第７号, １９９２年７月
  3. 「プログラム開発体験に基づくソフトウェア技術者育成カリキュラム」情報処理学会論文誌, 情報処理学会, 第３３巻, 第７号, １９９２年７月
  4. 「カード操作ツールＫＪエディタの実現と評価」コンピュータソフトウェア, 日本ソフトウェア科学会, 第９巻, 第５号, １９９２年９月
  5. 「英文タッチタイピング練習プログラムにおける誤り検出アルゴリズム」情報処理学会論文誌, 情報処理学会, 第３３巻第１０号, １９９２年１０月

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. KJ-Editor: An Index-Card Style Tool, IEEE Workshop on Visual Languages, Seatle, Washington, Sep. 1992
  2. Requirement Analysis by the KJ Editor, IEEE International Symposium On Requirement Engineering, San Diego, California, Jan. 1993

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 「日本のソフト技術者 専門教育充実の必要」日本経済新聞１９９２年６月６日
  2. 「一般情報教育の理念と教育内容」平成４年度情報処理教育研究集会 基調講演主催：文部省, 北海道大学, １９９２年１２月, 札幌

- 氏名 (Name)
  岡田隆彦 (Takahiko Okada)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  表現伝達論、記号・修辞論、環境芸術論

- 研究分野 (Research Areas)
  環境芸術論、近代・現代美術評論、近代・現代文学評論

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  研究・教育情報委員, 塾長賞候補選考委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員, 東京都新美術館美術資料収集委員, 埼玉県立近代美術館美術資料選考評価委員, 財団法人セゾン現代美術館理事

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 訳書 (篠田達美との共訳), ティモシー・ヒルトン著『ラファエル前派の夢』白水社刊,1992 年 1 月
  2. 「関係の記号化と肉体言語—-宇佐美圭司にふれて」 = 「宇佐美圭司回顧展」(セゾン美術館) カタログ,1992 年 2 月
  3. 「芸術のもたらす豊かさ」 = 季刊「アーガマ」1993 年春季号 (126 号)

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 美術展評「目の歩み」 = 月刊文芸誌「文學界」1990 年 1 月号から連載を始め今日に至る。
  2. 「新たな環境をつくる芸術」 = 朝日新聞 1992 年 1 月 27 日夕刊
  3. 「広大な自然と向かい合う—-オーストラリア絵画」 = 日本経済新聞 1992 年 5 月 30 日朝刊
  4. 心の姿を映す影像—-駒井哲郎とボードレール」 = 季刊「版画藝術」80 号 (1993 年 5 月)

- 氏名 (Name)
  奥出直人 (Naohito Okude)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  生活史・誌, 文化人類学, 研究会 1・2

- 研究分野 (Research Areas)
  マルチメディア環境, 文化史

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  ＳＦＣ研究コンソーシアム VOICE プロジェクト

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  国際センター学習指導主任, 運営委員会委員, 環境情報研究所運営会議委員, メディアセンター協議会委員, 研究推進委員会委員, 国際交流委員会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  著作

1. 『アメリカンホームの文化史　-生活・私有・消費のメカニズム (すまい学体住居の図書出版局 1988
2. 『物書きがコンピュータに出会うとき-思考のためのマシン』　河出書房新社 1990
3. 『思考のエンジン　Writing on Computer』 青土社 1991
4. 『トランスナショナルアメリカ　-豊かさの文化史』 岩波書店　1991

翻訳

1. 『夢の秘法　-セノイの夢理論とユートピア』 ウィリアム・ドムホフ 岩波書店　1991
2. 『モダニズム以降のデザイン』 ジョン・カッサラ編　鹿島出版会　1991

最近の論文／インタビューなど

1. 「良い趣味のイデオロギー」　『RIRI 流通産業』 92.4
2. 「マルチメディア・エクリチュール」『思想』 92.7,
3. 「The Future Computer 2002」『ASCII』 92.7
4. 「ポストモダン・ライティング・エンジン」『翻訳の世界』 92.8
5. 「Design Quest デザインの新しい道具と方法論」『FP』 92.8
6. 「電子時代の変貌する知性」『AERA』 92.8
7. 「コラボレーションとチーム」『By-LINE』 92.9
8. 「デジタルメディア時代の新しい想像力」『Fujitsu 飛しょう』 92.11
9. 「マルチメディアはアカデミズムを破壊する」『別冊宝島 167 学問の仕事場』 92.12
10. 「現代の若者とは何か !?」『毎日新聞』 93.1.10
11. 「Design Quest」「デザインの現場』 93.2
12. 「マルチメディア空間創造の産学協同研究を推進」『戦略コンピュータ』 93.3,

13. 「21世紀のグーテンベルクを目指して　テッド・ネルソンインタビュー」『ASCII』93.4
14. 「コレクションとコネクション思考　マルチメディアは創造力問題をクリアする」『平成義塾』93.4
15. 「コミュニケーション・アーキテクチャーとしてのハイパーテキスト」『InterCommunicationNo.4』93.4,

以前の論文

1. 「アメリカ美人のイコノロジー・シオンの娘からマリリン・モンローまで」『季刊へるめす』創刊周年記念別冊 (1987) 所収
2. 「黒人イメージの再発見-ステレオタイプのアメリカ文化史」　『中央公論』(87/12)
3. 「シカゴ博のミッドウエイーファーストフードレストランデザインの文化史源」『アメリカ研究』第２２号 (88) 所収
4. 「パーソナル・データベース・マネージメント・システムと人口知能-あるいは, お気に入りのノートとカードをコンピュータを使って管理する方法について (特集・データベース小論ーおいしいデータベースの作り方)」『月刊アドバタイジング』(88／2)
5. 「アメリカの発見［4］-リオ・デジャネイロに死す」『現代思想』(88／8)
6. 「サンボとモダニズム (特集・人種　-差異のイデオロギー)」『現代思想』　(88／12)
7. 「正統性のデコンストラクション (対談)」『現代思想』　(89／5)
8. 「ノスタルジー・ブルジョワジー・ファンタジー　-イデオロギーとしての良い趣味　(特集・High Style ポスト大衆社会の階級論)」『現代思想』　(89／5)
9. 「思考のエンジン　-Writing on Computer　(1〜12完)」『現代思想』　(89／1〜12)
10. 「スタイル, モダニズム, 権力 (特集・情報と通信の経済学)」『経済セミナー』(90／8),
11. 「私的所有としての「見てくれと雰囲気 (Look and Feel)」(特集・私的所有とはなにか)」『現代思想』　(90／9)
12. 「面白いから分かる　-サイエンス・センターをデザインする (特集・ハイパー都市-遊戯空間の身体論)」『現代思想』　(91／4)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 「都市デザインの詩学と解釈学」『1991　日本建築学会大会研究懇談会資料』(日本建築学会建設計画委員会設計方法小委員会)
2. 「情報通信装置による環境場の生成技術」『住宅』　(92／1), 「マルチメディアと文化」ー生活に於ける個と全体の調和の技術ー人間生活基盤技術研究推進協議会　1992.12.4
3. 「解釈学とマルチメディアエクリチュール」ー文化変容の現在ー　文部省科学研究費・重点領域研究『情報化社会と人間』第5群 1991.11『東京大学社会情報研究所紀要』第46・47号 1992年度発行
4. 「将来型アプリケーションソフトウェア技術の今後の進展についての調査研究」NTT技術調査部未来工学研究所 93.1.20
5. 公開講座「世界を結ぶ都市・時代を創る都市＜自律共振のパラダイム＞を探る」慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス総合政策研究所主催　1993.3.6
6. 第9回SFCフォーラム「未来を拓くグローバル・インフラストラクチャー」コメント 1993.1

- 氏名 (Name)
  小此木啓吾 (Keigo Okonogi)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  行動環境設計論 I 講義, 保健衛生講義

- 研究分野 (Research Areas)
  人間環境と適応、対人相互作用 (特に母子相互作用), 心身の発達, 心理療法及びカウンセリング, 職場のメンタルヘルス, 精神病理, その他

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  I・FEEL Picture 日本版の研究, 育児困難を訴える母親の診断と治療, 職場不適応とその対策, その他

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  心身ウェルネスセンター所長

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本精神分析学会運営委員, 教育研修委員, 厚生省臨床心理技術者資格認定委員会委員, 日本思春期青年期精神医学会副会長, 日本ストレス学会第 8 回学術総会会長, 世界乳幼児精神保健学会東京大会 (1994) 会長、小寺記念精神分析研究財団理事長, 中山記念科学振興財団選考委員, 各務記念財団論文著作選考委員, その他

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「乳幼児精神医学と精神分析」「精神分析研究」vol.36 No.5 P.2〜10 1993 年
  2. 「想像の赤ん坊と世代間伝達から見た阿闍世コンプレックス」「精神分析研究」 vol.36 No.5 P.59〜104 1993 年 1 月
  3. 「育児困難を訴える母親の診断と治療」「精神分析研究」 vol.36 No.5 P.66〜79 1993 年 1 月
  4. 「アイデンティティ論の成り立ちとその臨床課題」「精神分析研究」 vol.37 No.1 1993 年
  5. 「映画で見る精神分析」(彩樹社) 1992 年 10 月
  6. その他

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 「ストレスとしての対象喪失と悲哀の仕事 (Mourning Work)」日本ストレス学会第 8 回学術総会 1992 年 12 月 (会長講演)
  2. 「How Adults Recogize "amae " in infants?」 The Child Study Center Symposium in California University, Berkley April 1993
  3. Clinical Implications of Disturbances in Intimate Relationships. Synposium of SRCD(Society for Research of Child Development) Louisiana University New Orleans, March 1993
  4. その他

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 「多重人格・今と昔」「imago」

2. 子供を拒絶する親の心理——ライウスとイダイケ」「imago」

3. 慶應義塾ウエーランド記念講演「フロイトと現代——二つの世紀末の間」1993年5月 東京

4. その他

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
  平成4年度福沢賞受賞

- 氏名 (Name)
  加藤朗 (Akira kato)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 Ia 実習, 情報処理言語 Ib 実習

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータネットワーク, 分散処理

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  ポリシを導入したインターネット上の経路制御 (慶應義塾学事振興資金)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  ネットワークシステム委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本ネットワークインフォメーションセンター運営委員,JEPG/IP 委員, 同ルーティング WG chair

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. Network Module Structure for Heterogeneous Datalinks, Proceedings of INET'92, Internet Society, Jun 1992.
  2. 間欠リンクを含むインターネットワーク, 情報処理学会「B-ISDN 時代における マルチメディア通信と分散処理」シンポジウム,1991 年 11 月
  3. 大規模広域分散環境 WIDE のアーキテクチャ, 情報処理学会研究報告 91- DPS-51, 1991 年
  4. ISDN を用いたネットワークアーキテクチャの実験, 情報処理学会研究報告 91-DPS-51, 1991 年
  5. IP ネットワークにおける ISDN の利用, 情報処理学会第 42 回全国大会 講演論文集,1991 年

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 電子メールが届くまで, コンピュータソフトウェア,Vol.9,No.1,1992
  2. WIDE Internet について, 日本オペレーションズリサーチ学会学会誌 1992 年 12 月号

- 氏名 (Name)
  金安岩男 (Iwao Kaneyasu)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  地理学, データ解析法, フローデザイン論, 研究会 (「都市・地域の分析、計画, ならびに開発に関する研究」)

- 研究分野 (Research Areas)
  地域計画, 景観研究

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  景観ダイナミクス (文部省科研費申請)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学生部副部長、スチューデントライフ委員会, 新カリキュラム検討委員会, SFC 周辺地区開発構想委員会, その他委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本地理学会研究奨励賞選考委員, 国土庁国土利用計画研究会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「一迫町快適まちづくり計画」宮城県一迫町,1992
  2. 「広域都市圏における湾岸域の環境計画」, 文部省「人間-環境系」重点領域研究,1993

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 「マルチメディアによる東京湾岸域の景観構成」(久保幸夫と共同発表), 文部省「人間-環境系」重点領域研究,1992
  2. 「屋外広告物と景観」文部省「人間-環境系」重点領域研究,1993

- 氏名 (Name)
  川勝 久 (Hisashi Kawakatsu)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  class: Information Environment,Information Media, Information Activities workshop "Permissible Lies" "Effective Presentations" "Brainpower" "What Futurists See"

- 研究分野 (Research Areas)
  Tokyo Broadcasting System (TBS). Held increasingly progressive postions as Commercial Producer, Promotions Director, and Research Manager, from 1953 to retirement in 1986.

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  Carrier Development Planning Committee

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  Official Activities: 1970 to present: Director, Japan Mass Communication Society, 1976 to present: Director, Japan Advertising Society, 1978 to present: Director, Japan Marketing Association' 1981 to present: Special Advisor to Honolulu Marathon Association, Lectures: About 50 per year on "Service Economy," "customer Satisfaction," and "Informationology" conducted throughout Japan to Business and Public groups.

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. Creativity and Originality, PHP Intersect, 1974. Co-authored with Dr.F.F.Mauser, Professor of Marketing, University of Michigan.
  2. How to Build Up Your Lifestyle, Kodansha Publishers, 1975.
  3. Personal Organization, Diamond Publisheres, 1985.
  4. Marketing of Services, 1986. Co-authored with Dr Ralph Hook Chairman, Marketing Department, University of Hawaii.
  5. Informationology, Didamond Publishers, 1986.
  6. Introduction to Advertising, Daiwa Publishers, 1986.
  7. High Sensitive Services, Daiwa Publishing, 1987.
  8. How to Make Effective Presentations, Daiwa Publishing, 1988.
  9. You Can Understand Advertising, Sanno College Journal, 1989.
  10. How to Satisfy Customers, Sanno College Journal, 1990.
  11. Challenges to Information Overload Society: Info Media; Info Activities; and Info Environment, David sha Publishers, 1992.
  12. Books Translated Into Japanese: The Strategy of Meetings, Simon & Shuster/TBS Britanica, George Kieffer, author, 1990.
  13. The One Minute Manager Builds High Performance Teams, Blanchard Family Publishing/Diamond Publishing, K.Blanchard, author, 1992.
  14. It's Not My Department, William Morrow Publisheres/Didamond Publishing, 1992.
  15. The Light Touch, Simon & Schuster/TBS Britanica, 1992.

16. How to Get Your Point Across in 30 Seconds or Less, Simon & Schuster/ Diamond Publishing, M.O.Frank, author, 1986.

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. Culture and Advertising Science, Japan Advertising Society Journal, Edition #1. 1980.
2. New Media, Their Dreams and Realities, Alpha Journal, Sanno College, Edition #9. 1982.
3. Trends in Broadcasting Media, Japan Marketing Journal, Japan Marketing Association. 1983.
4. Perspectives of Information, Monthly Column, 1988-1992.

- 氏名 (Name)
  楠本 博之 (Hiroyuki Kusumoto)

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータコミュニケーション，分散システム，多国語情報処理環境

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  ネットワークシステム委員会 委員, データベースシステム委員会 委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本 UNIX ユーザ会 幹事

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. Jun Murai, Hiroyuki Kusumoto, Masaki Hirabaru, WIDE Project Overview: Status Report of 1992, Proceedings of iNET'92, June 15-18, Kobe, Japan(全文査読のもの)
  2. 和田 克宏，坂戸 美朝，阿部 雅弘，楠本 博之, 石井 秀治， 通信衛星 (CS) を利用した TCP/IP 通信装置とその性能について， 情報処理学会第 46 回 (平成 5 年前期) 全国大会，1993 年 3 月 (査読なしのもの)

- 氏名 (Name)
  久保 幸夫 (Sachio Kubo)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  環境情報システム論, 画像解析論, 研究会 (人間活動と環境変化), 研究会 (環境の分析とデザイン)

- 研究分野 (Research Areas)
  地理情報システム, 災害科学, 環境科学, 都市解析, マルチメディアシステム, コンピュータグラフィックス

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  科研費重点領域研究「近代化による環境変化の地理情報システム」, 科研費重点領域研究「人間—環境系」, 科研費試験研究「環境データロギングシステムの開発」

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  図書委員会, データベース委員会, 湘南藤沢学会幹事

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  International Geographical Union(IGU), Chairman, The Commission on Geographic Information Systems, 日本地理学会「地理情報システム研究委員会」主査, 総務庁地域情報研究会委員, 東京都地域暖冷房検討委員会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  論文

  1. 1992 環境変化と地理情報システム, 建築雑誌 (建築年報 1992)pp.31-32
  2. 1993 時空間分析としての地理情報システム, 重点領域研究 「近代化による環境変化の地理情報システム」報告書.pp.201-206.
  3. 1993 湾岸域土地利用の実態と景観評価手法, 重点領域研究「人間—環境系」研究報告集 G080-N35B-01.pp.11-35.
  4. 1993 湾岸水域利用の実態, 重点領域研究「人間—環境系」研究報告集 G080-N35B-01,pp.36-44.
  5. 1993 海外の地理情報システム, 統計,44(4),pp.13-19

  翻訳

  1. 1993 「GIS 入門,NCGIA GIS Core Curriculum」, 慶應義塾大学
  2. 1993 「GIS 技術論.NCGIA GIS Core Curriculum」, 慶應義塾大学

  教科書

  1. 1993 「新高等地図」, 東京書籍

- 氏名 (Name)
  熊坂賢次 (Kenji Kumasamka)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  社会学、社会環境論、社会調査法

- 研究分野 (Research Areas)
  社会学 (ライフスタイル論)

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  ＳＦＣ研究コンソーシアム (VOICE プロジェクト、ラストリゾート)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  教育開発委員会 (3 技法カリキュラム小委員会委員, 学部新カリキュラム小委員会委員), 環境情報研究所運営会議委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  湘南ブランド商品開発会議座長, 浦安市地域商業振興ビジョン策定委員会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「パーソンズとモダンのリアリティ」『危機と再生の社会理論』(佐藤慶幸・那須壽) マルジュ社 p77-97 93/5

- 氏名 (Name)
  斎藤信男 (Nobuo Saito)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  環境情報システム論, 情報処理系論, 情報処理言語 I, システム論

- 研究分野 (Reseacrh Areas)
  計算機科学, 特にオペレーティングシステム, 並列／分散処理, プログラム理論, ソフトウェア工学, 文書処理など

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activitiy)
  SFC 研究コンソーシアム（オープンメディア研究プロジェクト）, 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業プロジェクト, 文部省科研費重点領域「超並列原理も基づく情報処理体系」C 班（超並列制御系・処理体系に関する研究班）班長

- 学内委員等 (University Service,Committee etc.)
  両学部運営委員会委員, 大学評議会委員, 計算センター運営委員, メディアセンター協議会委員, 環境情報研究所運営会議委員, ネットワークシステム委員会委員長,CDP 委員会委員, 研究推進委員会幹事, 人工言語カリキュラム小委員会委員, ラップトップ小委員会委員長, 施設・設備拡充小委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  情報処理学会理事, 計測自動制御学会, 日本ソフトウェア科学会,ACM,IEEE Computer Society,TUG (TeX Users Group), 日本 UNIX ユーザ会, 情報処理学会システムインタフェース検証研究グループ主査, 情報規格調査会 POSIX WG 主査, 同 C++ WG 主査,POSIX JIS WG 主査

- 著書・論文等 (List of Full Length Refreed Papers)

  1. 中村修, 斎藤信男,「回線への待ち行列の多重化による転送遅延時間の保証」, コンピュータソフトウェア, 日本ソフトウェア科学会

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 徳田, 斎藤「マルチメディア統合基盤環境プロジェクトにおけるリアルタイム処理技術」, 実時間処理に関するワークショップ (RTP '93), 情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会
  2. 斎藤, ほか「マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価」, 実時間処理に関するワークショップ (RTP '93), 情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会
  3. 萩野, 徳田, 斎藤ほか「超並列計算機のためのオペレーティングシステムの構想」, 情報処理学会オペレーティングシステム研究会
  4. 「C 班研究計画」, 文部省重点領域研究, 超並列原理に基づく情報処理基本体系シンポジューム
  5. 「超並列システム用オペレーティングシステム COS の研究」, 文部省重点領域研究, 超並列原理に基づく情報処理基本体系第 2 回シンポジューム

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. システムインタフェース検証研究グループ,「システムインタフェース検証・認証の現状」, 情報処理,Vol.34,No.3,March 1993.

- 氏名 (Name)
  坂根厳夫 (Itsuo Sakane)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  現代芸術論 a(サイエンス・アート概論 I), 現代芸術論 b(サイエンス・アート概論 II), 環境芸術論, 環境デザイン論

- 研究分野 (Research Areas)
  現代文化における科学と芸術の相互作用, 相互影響の研究。芸術・科学・技術・メディの相互作用から生まれた現代芸術作品の評論。日本と欧米のサイエンス・アートの創造環境の比較研究。マルティメディアによる芸術の創造教育方法論の研究。

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  SFC の学生及び国内のテクノ・サイエンス・アート関係者に対して, 海外の関連情報の収集と伝達活動 (例:JFAST(Japan Forum for Art,Science,and Technology) による海外からの情報のメイル転送活動)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  設備拡充委員会委員, マック・ユーザーズ会会長, キャンパス・ネットワーク委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  ISAST(International Society for Art,Science and Technology) の国際共同編集者 (International Co-editor for LEONARDO),(財) 機械システム振興協会「ネットワーク型CGライブラリーシステムの開発に関するフィージビリティスタディ委員会」委員, ARS ELECTRONICA (Austria, Linz) の日本からのコンテスト応募に関するコンタクト・パーソン, 第 4 回国際電子アートシンポジウムのプログラム・アドバイザー (International Program Advisors for FISEA 93), 下中教育映像助成金審査委員会委員. Expo92(セビリア) 日本館第 5 室企画構成・監修者,ARS+(日本の芸術と科学の会) の設立企画発起人. 仙台テレポートセンター計画案監修委員会委員, 福井市映像文化センター主催第 2 回国際 Tel-Image 展審査員.(財) 国際デザイン交流会主催第 5 回国際デザイン・コンペティション・テーマ委員会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「広場に秘められた幾何学--ストックホルムのスーパー楕円広場」(週刊朝日百科『世界の歴史』別冊旅の世界史 8 広場物語 (1992.6.5 号, 朝日新聞社)
  2. 「変容する万博--水と緑のセビリア万博を訪ねて」approach92.118 号 (92.06.15)
  3. てい談『現実と非現実』NEXTAGE(92.21 号 住友商事刊)(92.07)
  4. 座談会『仮想現実の世界』三田評論 (92.939 号, 慶應義塾大学.92.08.09)
  5. 『新しい世界像への視野を求めて』朝日新聞夕刊・文化欄 (92.09.17)
  6. "Summer Festival in the Light Garden in Japan: The Science Art Gallery at the Japan Pavilion, Expo'92"(92.No.4.LEONARDO CURRENTS, ISAST)
  7. 「HISTORY OF R.D.S.- - -ランダム・ドット立体視現象の流行に思う」3D STEREOGRAM(92.12.10, 小学館刊)
  8. 『人工現実感のアートとその未来』岩田洋夫編著「人工芸実感生成技術とその応用」の第 7 章 (92.12.25, サイエンス社刊)

9. 『遊びは環境と文化を創造する』－－－アートとサイエンスの例から－－－ 第4回玩具文化フォーラム講演録 (92.10.3,(財) 佐藤玩具文化財団)
10. 『イマジナリー・ミュージアムの時代』「映像学 ICONICS93.49 号」(93.03.31, 日本映像学会刊)
11. 『淡路島で開かれた環境芸術祭』(民族芸術学会編「民族芸術」93.9 巻) (93.04.15, 講談社刊)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 『遊びの精神の拡張と芸術・科学の境界領域の旅』武蔵野市老壮大学 (93.1.29)
2. NTT「フラクタル」シンポジウムのパネリスト (92.4.17 東京商工会議所ホール)
3. 日本デザイン学会年次会議基調講演 (92.5.23 東海大学高輪校舎で)
4. 淡路島環境芸術祭シンポジウム基調講演 (92.9.10 淡路島環境芸術祭)
5. 横浜市主催環境問題セミナー

- 氏名 (Name)
  佐々木 三男 (Mitsuo Sasaki)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  体育

- 研究分野 (Research Areas)
  体育方法学 (バスケットボールの指導方法, ゲーム分析, ゲームシミュレーション), 体育心理学 (競技力向上のためのメンタルリハーサル法)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学生部委員 (課外活動委員会, 学生健康保険互助会理事),Student Life 小委員会, 教材教授法委員会, 湘南藤沢学会幹事, フレッシュマンキャンプ委員会, 慶應義塾体育会副理事

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本学生バスケットボール連盟理事 (女子強化副部長), 関東女子学生バスケットボール連盟常任理事 (選手強化部長)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 日本体育学会 (体育方法分科会), 口頭発表「ラップトップコンピュータによるバスケットボールのスコアシート試作とゲームシミュレーションのソフト開発」1992 年 12 月

- 氏名 (Name)
  高橋潤二郎 (Junjiro Takahashi)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  環境動態論, 立地空間分析, 研究会

- 研究分野 (Research Areas)
  都市システム, 地域開発, 特に情報社会における都市の空間構造に関する研究, アーバンゲーミングシミュレーションに関する研究

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  SFC コンソーシアム「VOICE」研究代表, 義塾学事振興資金「メタファ研究」

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学部長補佐, メディアセンター所長

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  地域学会理事, 不動産学会顧問,(財) 地域開発研究所所長, 首都機能移転問題に関する懇談会委員, 土地政策審議会委員, 神奈川県総合計画審議会委員, 藤沢市総合計画審議会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「自治体と企業の文化連携」加藤秀俊編「企業と文化」第 5 巻, 総合法令,1993 年 4 月

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 「一極集中とそれを巡るパラドックス」1992 年秋季学術大会シンポジウム V, 日本地理学会, 東北大学, 仙台
  2. THE JAPANESE URBAN SYSYTEM IN TRANSITION:ITS STRUCTURAL CHANGE SINCE 1980S AND THE DECISIVE ROLES OF TOKYO METROPOLITAN AREA, Chinese University of Hong Kong supported by the United Nations University February,11-14.1992.Hong Kong

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 「情報の多重国籍者」産経新聞 1992 年
  2. 「世界の十字路を目指して–これからの東京」東京新聞記念講演 1992 年 9 月
  3. 「都市環境計画の理念と課題」新都市第 47 巻第 2 号, 都市計画協会 1993 年 2 月

- 氏名 (Name)
  武藤佳恭 (Yoshiyasu Takefuji)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  Information Processing Ia and Ib

- 研究分野 (Research Areas)
  Neural network parallel computing for solving real-world problems, VLSI applications and silicon architecture

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  Neural Computing(TEPCO) Amount ¥21,600,000

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  Library committee,Network committee XS

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  Associate Editor of IEEE Trans. on Neural Networks, Associate Editor of Neurocomputing, Associate Editor of Neural/parallel/scientific computations, Guest editor of Neurocomputing in the special issue on neural optimization, Guest Editor of Int. Journal Analog Integrated Circuits and Signal Processing, NSF Advisory Panelist for Neural Networks, Tutorial speaker in two International Conferences, Organizer of one international conference in Singapore, Founding moderator of comp.internet.library, External examiner of graduate programs in Univ. of British Columbia and Singapore Universities

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. Y. Takefuji, Y. B. Cho, and K. C. Lee, "A comment on O(n2) algorithms for graph planarization," IEEE Trans. on CAD, 10, 12, 1582-1583, 1991.
2. Y. Takefuji, and K. C. Lee, "An artificial hysteresis binary neuron: A model suppressing the oscillatory behaviors of neural dynamics," Biological Cybernetics, 64, pp.353-356, 1991.
3. N. Funabiki, and Y. Takefuji, "A parallel algorithm for spare allocation problems," IEEE Trans. on Reliability, 40, 3, 338-346, 1991.
4. Y. Takefuji, and K. C. Lee, "Artificial neural networks for four-coloring problems and k-colorability problems," IEEE Trans. on Circuits and Systems, 38, 3, 326-333, 1991.
5. Y. Takefuji, and K. C. Lee, "Authors' reply to comment on parallel algorithms for finding a near-maximum independent set of a circle graph," IEEE Trans. on Neural Networks, 2, 2, 329, 1991.
6. N. Funabiki, and Y. Takefuji, "A parallel algorithm for channel routing problems," IEEE Trans. on CAD, 11, 4, 464-474, 1992.
7. N. Funabiki and Y. Takefuji, "A parallel algorithm for solving the Hip games," Neurocomputing, 3, 97-106, 1991.
8. N. Funabiki, Y. Takefuji, "A neural network model for finding a near-maximum clique," Journal of Parallel Distributed Computing, 14, 340-344, 1992.

9. Y. Takefuji, T. Tanaka, and K. C. Lee, "A parallel string search algorithm," IEEE Trans. on Systems, man, and Cybernetics, 22, 2, 332-336, 1992.

10. K. C. Lee, Y. Takefuji, and N. Funabiki, "A parallel improvement algorithm for the bipartite subgraph problem," IEEE Trans. on Neural Networks, 3, 1, 139-145, 1992.

11. Y. Takefuji, and K. C. Lee, "Neural network computing for knight's tour problems," Neurocomputing , 4, 249-254, 1992.

12. N. Funabiki, Y. Takefuji, K. C. Lee, "A neural network parallel algorithm for clique vertex-partition problems," International Journal of' Electronics, 72, 3, 357-372, 1992.

13. K. C. Lee, and Y. Takefuji, "A generalized maximum neural network for the module orientation problem," International Journal of Electronics, 72, 3, 331-356, 1992.

14. S. C. Amartur, D. Piraino, and Y. Takefuji, "Optimization neural networks for the segmentation of magnetic resonance images," IEEE Trans. on Medical Imaging, 11, 2, 215-220, 1992.

15. T. Kurokawa, and Y. Takefuji, "Neural network parallel computing for BIBD problems," IEEE Trans. on Circuits and Systems, 39, 4, 243-249, 1992.

16. J. D. Rofkar, and Y. Takefuji, "A parallel algorithm for solving unfriendly beehive game problems," Neurocomputing, 4, 3, 167-179, 1992.

17. Y. H. Pao, and Y. Takefuji, "Functional-link net computing: theory, system architecture and functionalities," Computer, 25, 5, 76-79, 1992.

18. Y. Takefuji, K. C. Lee, and H. Aiso, "An artificial maximum neural network: a winner-take-all neuron model forcing the state of the system in a solution domain," Biological Cybernetics, 67, 243-251, 1992.

19. Y. Takefuji, "Neural computing for optimization and combinatorics problems," Communications of the Operations Research Society of Japan, 37, 7, 324-330, 1992.

20. Y.B. Cho, K. Tsuchiya, and Y. Takefuji, "CMOS analog/digital circuits of the hysteresis McCulloch-Pitts neural network for Ramsey number problems," International Journal of Analog Integrated Circuits and Signal Processing, Sept. 1992.

21. C. W. Lin, J. C. LaManna, and Y. Takefuji, "Quatitative measurement of two-component pH-sensitive colormetric spectra using multilayer neural networks," Biological Cybernetics, 67, 303-308, 1992.

22. Y. Takefuji, and K. C. Lee, "Neural network Computing for knight's tour problems," Neurocomputing 4, 249-254.

23. N. Funabiki, and Y. Takefuji, "A parallel multi-layer channel router on the HVH model," Parallel Computing, 19, 1, 63-77, 1993.

24. Y. Takefuji, D. Ben-Alon, and A. Zaritsky, "Neural computing in discovering RNA interactions," BioSystems, 27, 2, 85-96, 1992.

25. N. Funabiki and Y. Takefuji, "A neural network parallel algorithm for channel assignment problems in cellular radio networks," IEEE Trans. on Vehicular Technology, 41, 4, 430-437, Nov. 1992.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. K. C. Lee, Y. Takefuji, and N. Funabiki, "A maximum neural network for the max cut problem," Proc. of IJCNN-91.
2. N. Funabiki, Y. Takefuji, and K. C. Lee, "A neural network model for traffic controls in multistage interconnection networks," Proc. of IJCNN91-Seattle, July 1991.
3. M. N. Dargiri, C. A. Papachristou, Y. Takefuji, "A parallel algorithm for scheduling problem based on Hopfield model for the automated synthesis of digital systems," Proc. of IJCNN-Seattle. July 1991.
4. C. W. Lin, K. C. Lee, J. C. LaManna, Y. Takefuji, "Quantitative measurement of two-component pH sensitive spectrum using multilayer semilinear neural networks," Proc. of IEEE/Engineering in Medicine and Biology Society Conference, 1991.
5. N. Funabiki, Y. Takefuji, K. C. Lee, Y. B. Cho, T. Kurokawa, and H. Aiso, "A neural network approach to broadcasting in multihop packet radio networks," Proc. of IJCNN'91-Singapore, Oct. 1991.
6. Y. B. Cho. K. C. Lee, Y. Takefuji, and N. Funabiki, "Analog maximum neural network circuits using the switched capacitor technique," Proc. of IJCNN'91-Singapore, Oct. 1991.
7. K. C. Lee, N. Funabiki, Y. B. Cho, and Y. Takefuji, "Parallel neural network computing for the maximum clique problem," Proc. of IJCNN'91-Singapore, Oct. 1991.
8. Y. Takefuji. Y.H. Pao, and K. Tsuchiya, "Neural computing for crossbar switch scheduling problems," Proc. of International conference on communication technology, Sept. 1992.
9. K. Suzuki, H. Amano, and Y. Takefuji, "Neural Computing on a parallel machine for channel routing problems," Proc. of the Int. Conf. on Automation, Robitics, and Computer Vision. Sept. 1992.
10. K. Tsuchiya, and Y. Takefuji, "A neural network parallel algorithm for Ramsey numbers," Prof. of the RNNS/IEEE symposium on neuroinformatics and neurocomputers," Oct. 1992.
11. Y. Takefuji, and K. Tsuchiya, "Neural algorithm and backtracking algorithm for N-queen problems." Prof. of 29th annual technical meeting of Society of Engineering Science, 1992.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

Distinguished Service Award as Associate Editor of IEEE Trans. on Neural Networks
Who's who in America
Who's who in Midwest, US
Who's who in Science and Engineering
Tenured at Case Western Reserve University

- 氏名 (Name)
  谷口こゆき (Koyuki Taniguchi)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  体育 I, 体育 II・III(エアロビクス・バスケットボール・レクリエーションスポーツ)

- 研究分野 (Research Areas)
  体育方法学、スポーツ教育学, スポーツ心理学

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  ハーフコートバスケットボールゲームの考察

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 「ラップトップ・コンピュータによるバスケットボールのスコア・シート試作とゲーム・シミュレーションのソフト開発」 日本体育学会第 43 回大会

- 氏名 (Name)
  千代倉弘明 (Hiroaki Chiyokura)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 2 グラフィックスコース, デザイン支援論, 情報環境設計論

- 研究分野 (Research Areas)
  ＣＡＤ (Computer Aided Design), 医学へのＣＧの応用

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  大学院設置委員, 湘南藤沢学会委員, 学習指導委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  EUROGRAPHICS'91,'92, Technical Committee, CG International '92,Technical Committee, Pacific Graphics'93.Technical Committee, ニコグラフ'91,'92,'93, 論文委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  著書

1. H.Chiyokura, *Solid Modeling with DESIGNBASE,* Addison-Wesley, 1988.
2. 鳥谷浩志, 千代倉弘明,3 次元 CAD の基礎と応用, 共立出版,1990.
3. 千代倉弘明, ソリッドモデリング, 工業調査会,1985.

論文

1. M.Kobayashi, T.Fujino, H.Nakajima and H.Chiyokura, Significance of Solid Modelling of the Skull using Laser-curable Resin in Simulation Surgery, *European Journal of Plastic Surgery*, Springer-Verlag, 1993.
2. 今野, 高村, 千代倉, 高品位な自由曲面形状の生成とその形状制御, 情報処理論文誌,33(9),1992.
3. J.Satoh, H.Chiyokura, M.Kobayashi and T.Fujino, Simulation of Surgical Operation Based on Solid Modeling, *Visual Computing,* T.L.Kunii, Ed., Springer-Verlag, 1992.
4. T.Satoh, T.Takamura, H.Toriya and H.Chiyokura, Boolean Operation on Solids Bounded by a Variety of Surfaces, *Modeling in Computer Graphics*, T.L.Kunii, Ed., Springer-Verlag, 1991.
5. T.Satoh and H.Chiyokura, Boolean Operation on Sets Using Surface Data, *Proc. of ACM Symposium on Solid Modeling*, 1991.
6. K.Konno, T.Takamura and H.Chiyokura, A New Control Method for Free-Form Surfaces with Tangent Continuity and its Application, *Scientific Visualization of Physical Phenomena*, N.M.Patrikalakis, Ed., Springer-Verlag, 1991.
7. T.Harada, K.Konno and H.Chiyokura, Variable-Radius Blending by Using Gregory Patches in Geometric Modeling, *Eurographics'91*, North Holland, 1991.
8. H.Chiyokura, T.Takamura, K.Konno and T.Harada, G1 Surface Interpolation over Irregular Meshes with Rational Curves, *NURBS for Curve and Surface Design*, G.Farin, Ed., SIAM, 1991.

9. T.Takamura, M.Ohta, H.Toriya and H.Chiyokura, A Method to Convert a Gregory Patch and a Rational Boundary Gregory Patch to a Rational Bezier Patch and its Application, *CGInternational'90*. T.S.Chau and T.L.Kunii, Eds., Springer-Verlag, 1990.

10. T.Harada, H.Toriya and H.Chiyokura, A Enhanced Rounding Operation Between Curved Surfaces in Solid Modeling, *CGInternational'90,* T.S.Chau and T.L.Kunii, Eds., Springer-Verlag, 1990.

11. H.Toriya, T.Takamura, T.Satoh and H.Chiyokura, Boolean Operation of Solids with Free-Form Surfaces through Polyhedral Approximation, *New Advances in Computer Graphics,* R.A.Earnshaw and B.Wyvill, Eds., Springer-Verlag, 1989.

12. H.Chiyokura and F.Kimura, MODIF: Interactive Solid Modeling System, *Computer Science and Technologies,* T. Kitagawa, Ed., North-Holland, 1988.

13. H.Chiyokura, An Extended Rounding Operation for Modeling Solids with Free-Form Surfaces, *IEEE CG&A*, 7, 1987.

14. H.Toriya, T.Satoh, K.Ueda and H.Chiyokura, Undo and Redo Operations for Solid Modeling, *IEEE CG&A*, 6, 1986.

15. H.Chiyokura, Localized Surface Interpolation for Irregular Meshes, *Advanced Computer Graphics*. T.L.Kunii, Ed., Springer-Verlag, 1986.

16. H.Chiyokura and F.Kimura, A Method of Representing Solid Design Process, *IEEE CG&A,* 5, 1985.

17. H.Chiyokura and F.Kimura, A New Surface Interpolation Method for Irregular Curve Models, *Computer Graphics Forum*, 3, 1984.

18. H.Chiyokura and F.Kimura, Design of Solids with Free-Form Surfaces, *Proc. of ACM SIGGRAPH'83*, 1983.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

第２５回機械振興協会賞，１９９０年１１月

- 氏名 (Name)
  立木秀樹 (Hideki Tsuiki)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I 自習

- 研究分野 (Research Areas)
  プログラミング言語の基礎理論、数理論理学, オブジェクト指向計算の基礎, 型つき λ 計算

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  ネットワークシステム委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  ソフトウェア科学会企画委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. Hideki Tsuiki, A Record Calculus with a Merge Operator 学位論文, 慶應義塾大学理工学部
  2. Hideki Tsuiki, A Reflective Domain Construction for Type Inheritance and Higher-Order Generics Advances in Software Science and Technology Vol 5.
  3. 立木秀樹、マージオペレータを持つレコード計算 情報処理学会論文誌、３４巻５号

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. Hideki Tsuiki, A Record Calculus with a Merge Operator 第９回記号論理学と情報処理研究集会

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 立木秀樹、プログラム理論と不動点 情報処理３３巻４号

- 氏名 (Name)

  徳田英幸 (Hideyuki Tokuda)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I 講義, 実習. 情報処理言語 IIS(システム), コンピュータコミュニケーション論, 情報通信理論

- 研究分野 (Research Areas)
  オペレーティングシステム, コンピュータネットワーク, 分散システム、分散リアルタイムシステム, 分散マルチメディアシステム、

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  「超並列オペレーティングシステムの研究」 文部省重点領域, 「進化するソフトウェアの研究」 文部省重点領域, 「マルチメディア統合環境基盤ソフトウェアプロジェクト」 IPA , 「超分散システムアーキテクチャとマイクロカーネルの研究」 KEIO-IBM パートナシッププログラム, 「Study on Server Architecure for Microkernels 」 IBM-TRL, 「情報ベース」SFC コンソーシアム

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  新大学院実行委員会委員、ネットワークシステム委員会委員, データベース委員会委員

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  国際交流委員会委員長.RISE
  プログラム委員
  IEEE 9th IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software Program Chair
  プログラム委員
  IEEE 10th IEEE Workshop on Real-Time Operating Systems and Software Program Committee
  3rd International Workshop on Responsive Computer Systems Program Committee
  1992 National Conference of the Japan Society for Software Science
  and Technology Program Committee
  IEEE ISADS '93 Program Committee
  IFAC 1992 Workshop on Real-Time Programming
  INET '92, Internet Society Symposium Program Committee
  IEEE ICDCS '92 Program Committee

  その他
  情報処理学会オペレーティングシステム研究会連絡委員
  情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会連絡委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. S.Savage and H.Tokuda, "RT-Mach Timers: Exporting Time to the User", *In Proceeding of USENIX 3rd Mach Symposium*, 1993.
  2. T.Nakajima,T.Kitayama and H.Tokuda, "Experiments with Real-Time Servers in Real-Time Mach", *In Proceedings of USENIX 3rd Mach Symposium*, 1993.

3. D.I. Katcher, H. Arakawa, J.K. Strosnider, H. Tokuda "Modeling and Validation of the Real-Time Mach Scheduler", *Proceedings of ACM SIGMETRICS Conference on Measurement and Modeling of Computer Systems*, 1993.

4. C.W.Mercer, and H.Tokuda, "Preemptability in Real-Time Operating Systems", *In Proceedings of 11th IEEE Real-Time Systems Symposium*, December, 1992.

5. Y.Ishikawa.H.Tokuda, and C.Mercer, "An Object-Oriented Real-Time Programming Language", *IEEE Computer*, Vol.25, No.10, 1992.

6. H. Tokuda, Y. Tobe, S.T. Chou, and J.M.F. Moura, "Continuous Media Communication with Dynamic QOS Control Using ARTS with an FDDI Network", *In Proceedings of ACM SIGCOMM '92*, August, 1992.

7. Yoshito Tobe, Stephen T.-C. Chou, and Hideyuki Tokuda, "QOS Control for Continuous Media Communications" *In Proceedings of INET '92*, June 1992.

8. D.L. Black, D.B. Golub, D.P. Julin, R.F. Rashid, R.P. Draves, R.W. Dean, A. Forin, J. Barrera, H. Tokuda, G. Malan, D. Bohman, "Microkernel Operating System Architecture and Mach", *In Proceedings of USENIX Workshop on Micro-kernels and Other Kernel Architecures*, April, 1992.

9. Stephen T.-C. Chou, Hideyuki Tokuda, "Real-Time Communication with Deadline-Based Scheduling" *In Proceedings of IEEE 12th Workshop on Real-Time Software and Operating Systems*, May, 1992.

10. Y. Ishikawa and H. Tokuda, "Distributed Real-Time Programming Language: RTC++ (in Japanese)", *Journal of Japan Society for Software Science and Technology*, Vol. 9, No. 2, 1992.

11. H. Tokuda and T. Nakajima, "Evaluation of Real-Time Synchronization in Real-Time Mach", *In Proceeding of USENIX 2nd Mach Symposium*, Nov. 1991.

12. C.W. Mercer and H. Tokuda, "Priority Consistency in Protocol Architectures", *In Proceedings of the 2nd International Workshop on Network Operating System Support for Digital Audio and Video*, November 1991.

13. C.W. Mercer and H. Tokuda, "An Evaluation of Priority Consistency in Protocol Architectures", *In Proceedings of the IEEE 16th Conference on Local Computer Networks*, October 1991.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. H. Tokuda, T. Nakajima, S. Oikawa, "Towards a New Operating System Architecture: Micro Kernel vs. Reflective Architecture", *Proceedings of 1992 National Conference of the Japan Society for Software Science and Technology*, August, 1992.

2. H. Tokuda, T. Nakajima, S. Oikawa, "Towards a New Operating System Architecture: Micro Kernel vs. Reflective Architecture", *Proceedings of 1992 National Conference of the Japan Society for Software Science and Technology*, Sept., 1992.

3. T. Nakajima, H. Tokuda, "Real-Time Synchronization in Real-Time Mach" *Proceedings of 1992 National Conference of the Japan Society for Software Science and Technology*, Sept., 1992.

4. S. Oikawa, H. Tokuda, "Design and Implementation of Real-Time User-Level Thread" *Proceedings of 1989 National Conference of the Japan Society for Software Science and Technology*, Sept., 1992.
5. Y. Tobe, S.T.-C. Chou, H. Tokuda, "Video Transmission using an ARTS Resource Reservation Scheme (in Japanese)", JIPS, SIGArch, Vol. 92, No. 17, March, 1992.
6. 情報処理学会/電子情報通信学会, "実時間処理に関するワークショップ (RTP'93)", 招待講演, 札幌, 1993 3 月.
7. International Workshop on Reflection and Metalevel Architecture, Tokyo, Nov. 1992.
8. 情報処理学会 "コンピュータシステムシンポジム ", Panel on Operating Systems Research, Tokyo, Oct. 1992.
9. IPA シンポジウム, Panel on Next Generation Operating Systems), Tokyo, Oct. 1992.
10. Uniform Symposium, (Panel on UNIX and Multimedia), San Fransiso., Jan. 1992
11. OSF/RI Microkernel Workshop, Boston, Feb. 1991.

基調講演

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 徳田 英幸 "分散リアルタイム OS の技術動向", 日本ソフトウェア学会, 「コンピュータ・ソフトウェア」第 9 巻 第 3 号, 1992.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

1. Motorola Foundation Award, 1989,
2. The best paper award in 16th Hawaii International Conference on System Sciences, 1983.
3. 学術振興奨励賞, 電子情報通信学会 1977

- 氏名 (Name)
  冨田勝 (Masaeu Tomita)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  自然言語論 I, 人口知能論 I, 情報処理言語 I,II

- 研究分野 (Research Areas)
  自動翻訳, 自然言語処理, 音声認識, 人工知能, コンピュータ・ゲーム工学

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  ラップトップ委員会, 新カリキュラム検討委員会

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  Conference Program Committee Member

  - 6th International Symposium on Artificial Intelligence [1993] (Monterrey, N. L., Mexico)
  - 3nd International Workshop on Parsing Technologies [1993] (Tilburg and Belgium)
  - 5th International Symposium on Artificial Intelligence [1992] (Monterrey, N. L., Mexico)

  Conference Panelist

  - "Future Directions in MT" NSF Workshop on MT Evaluation, San Diego, 1992

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. "Efficient Generalized LR Parsing of Word Lattices" Lavie, A. and Tomita, M. Journal of Mathematics and Artificial Intelligence, 1993 (to appear)
  2. "Machine Translation Systems and College Education" Tomita, M.; *Computers and Documentation* (in Japanese), May, 1993
  3. "Recent Advances in JANUS: CMU's Speech Translation System" M.Woszczyna, O.Barkai, N.Coccaro, A.Eisele, A.McNair, I.Rogina, C.P.Rose, T.Sloboda, M.Tomita, N.Aoki-Waibel, A.Waibel and W. Ward; The Fifth International Conference on Theoretical and Methodological Issues in Machine Translation (TMI93), Kyoto, Japan, 1993
  4. "Evaluation of MT by TOEFL" Tomita, M, Shirai, M., Tsutsumi, J., Matsumura, M. and Yoshikawa, Y.; The Fifth International Conference on Theoretical and Methodological Issues in Machine Translation (TMI93), Kyoto, Japan, 1993
  5. "GLR* - An Efficient Noise-Skipping Parsing Algorithm for Context-Free Grammars" Lavie, A. and Tomita, M.; The Third International Workshop on Parsing Technologies (IWPT93, submitted), Tilburg and Belgium, 1993
  6. "A Two-Dimensional Context Sensitive Language" Prussak, M. and Tomita, M.: The Third International Workshop on Parsing Technologies (IWPT93, submitted), Tilburg and Belgium, 1993
  7. "Application of the TOEFL Test to the Evaluation of Japanese-English MT" Tomita, M.; NSF Workshop on MT Evaluation, San Diego, 1992
  8. "Efficient Generalized LR Parsing of Word Lattices" Lavie, A. and Tomita, M.; Third Bar-Ilan Symposium on the Foundation of Artificial Intelligence (BISFAI-93), Israel, 1993

9. "Recent Advances in JANUS: CMU's Speech Translation System" M.Woszczyna, O.Barkai, N.Coccaro, A.Eisele, A.McNair, I.Rogina, C.P.Rose, T.Sloboda, M.Tomita, N.Aoki-Waibel, A.Waibel and W. Ward; DARPA Workshop on Human Language Technology, Princeton, 1993
10. "JTEC Panel on Machine Translation" Carbonell, J.G., Rich, E., Johnson, D., Tomita, M., Vasconcellos, M., and Wilks, Y.; Japanese Technology Evaluation Center, 1992

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

Recent Invited Talks

1. November 1992; NSF Workshop on MT Evaluation (San Diego, CA)
2. November 1992; Workshop on Japanese Sentence Processing (Tokyo)
3. October 1992; First International Workshop on Speech Translation (Germany)
4. March 1992; MT Fair'92 (Tokyo, Japan)
5. February 1992: NSF Workshop on Spoken Language Understanding (Washington D. C.)

Refereed Conference Presentations

1. August 1993: 3rd International Workshop on Parsing Technologies [IWPT93] (Tilburg and Belgium)
2. July 1993; 5th International Conference ob Theoretical and Methodological Issues in Machine Translation [TMI-93] (Kyoto, Japan)

Public Demonstrations

1. Janus: ARPA Workshop on Human Language Technology [1993] (Princeton, NJ) with Waibel A. and others
2. C-STAR Speech Translation: (Pittsburgh, Kyoto and Munich) [1993] with many others

- 氏名 (Name)
  富永健一 (Kenichi Tominaga)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  社会環境論. 社会動態論. 研究会 (1) 社会階層の計量分析, 研究会 (2) 社会システム理論

- 研究分野 (Research Areas)
  社会学理論. 社会変動, 近代化の比較分析, 社会階層の計量分析, 経済社会学, 組織理論

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  国際学術共同研究<日独両国および両国民の将来像ー意識の実証的研究にもとづく> (研究代表者: 統計数理研究所 鈴木達三)

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本社会学会理事 (渉外). 経済社会学会常任理事, 社会学史学会常任理事. 文部省学術審議会科学研究費分科会企画部会人文社会系小委員会委員, 文部省国際学術研究審査委員, 厚生省中央社会保障審議会委員. 郵政省郵貯研究会会員, ISA(International Sociological Association) Program Committee Member, ISA Research Committee on 'Economy and Society' Board Member

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 日本の近代化と社会変動 講談社学術文庫 1990
  2. 溝口雄三/富永健一/中嶋嶺雄/浜下武志編 漢字文化圏の歴史と未来 大修館書店 1992
  3. Modernisierung und der Wandel der Werte in Japan, in: Brunhilde Scheuringer, Hrsg., Wertorientierung und Zweckrationalitaet, Opladen: Leske und Budrich, 1990: 39-56.
  4. A Theory of Modernization and Social Change of the Non-Western Societies. International Review of Sociology, 1991, No.3: 95-120.
  5. 日本の近代化と欧米の社会学思想 思想 No.808, 1991 年 10 月: 4-38.
  6. 戦後日本の社会階層とその変動 1955-1985 東京大学社会科学研究所編 現代日本社会 第 6 巻 東大出版会 1992: 429-495.
  7. マックス. ヴェーバーと経済社会学 思想 No.815, 1992 年 5 月: 70-96.
  8. 戦後日本の社会科学におけるパラダイム相克とその終焉 岩波講座 社会科学の方法 第 1 巻, 岩波書店.1993: 309-366.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 社会学史学会年次大会 シンポジウム『日本社会学における戦前と戦後の接点』において報告「戦後日本社会学の発展とその問題」1992 年 6 月 26 日〜27 日
  2. 日本ドイツ社会科学会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft für Sozialwissenschaften) 大会において研究報告「日本におけるドイツ社会学の受容」1992 年 7 月 31 日〜8 月 1 日
  3. 日本社会学会大会テーマ部会『環境社会学』において報告「社会環境論と環境社会学」1992 年 10 月 31 日〜11 月 1 日
  4. 日本社会学会大会『書評セッション』において私の著書「日本の近代化と社会変動」について報告と討論 1992 年 10 月 31 日〜11 月 1 日

5. 日独シンポジウム「マックス・ウェーバーと日本」(Max Weber und Japan) 研究報告「日本の近代化とマックス・ウェーバーの社会学理論」(Modernisierung Japans und die Soziologische Theorie Max Webers) 1993年3月22日〜25日

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. もう高度成長はいらない　エコノミスト 1992年7月21日号: 18-25.
2. <私の新資本主義論> 儒教の共同体意識導入を　日本経済新聞　1992年9月28日
3. 文化の多様性と二つの資本主義–ゲマインシャフト・キャピタリズムの提唱, 季刊アステイオン No.29,1993-夏号:56-74

- 氏名 (Name)
  西岡啓二 (Keiji Nishioka)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  数学 Ia, 数学 Ib, 数学 II, 数学 III

- 研究分野 (Research Areas)
  微分代数, 複素領域における微分方程式

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  Reviewer of (AMS) Mathematical Reviews

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 論文: Painleve's Theorem on Automorphic Functions II,Funkcialaj Ekvacioj,35(1992), 597-602

  2. おりがみ支援システム

- 氏名 (Name)
  苗村 憲司 (Kenji Naemura)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  論理学 a, b, 情報処理言語 I a, b, 計算機能論

- 研究分野 (Research Areas)
  情報通信システム、計算機システム構成, プロトコル, 論理数学, 符号, セキュリティ, 技術標準, 知的財産

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  元岡賞選考委員会 委員

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  ＣＤＰ委員会 委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  情報処理学会 論文査読委員, 情報処理学会 情報規格調査会 委員、情報処理学会 情報規格調査会 ＳＣ２７専門委員会 委員長, 応用数理学会 評議員, 電気学会 評議員, 電信電話技術委員会 工業所有権等基本指針等検討委員会 委員長

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. K. Naemura, "Construction of m-out-of-k-Systematic t-Symmetric Error Correctiong / All Unidirectional Error Detecting Codes", IEICE Trans. Fundamentals, Vol. E75-A, No.9, pp.1128-1133 (Sep. 1992)
  2. K. Naemura, "Semidistance Codes and t-Symmetric Error Correctiong / All Unidirectional Error Detecting Codes", IEICE Trans. Inf.& Syst., Vol. E75-D. No.6, pp.873-883 (Nov. 1992)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. K. Naemura, "TTC's Policy on Intellectual Property Rights in Standard- ization", presented at a Seminor on National and International Telecom- munication Standardization, Seoul (Aug. 1992)
  2. K. Naemura, "Open Horizons and Standardization", presented at the First Special Session on Information Technology Policy, OECD, Paris (Oct. 1992)
  3. K. Naemura, "New Environment of IT Standardization and Changing Roles of Users and Governments", presented at 'The Economic Dimensions of IT Standards - Users and Governments in the Standardization Process', A workshop jointly organized by MITI, MPT and OECD. Tokyo (Nov. 1992)

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 苗村「新しい情報技術標準化環境におけるユーザと政府の役割について」, TTC Report, Vol.7, No.6 (Feb. 1993)

- 氏名 (Name)
  萩野 達也 (Tatsuya Hagino)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I，情報処理言語 II，知識処理 I

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータサイエンス (計算機の基礎理論，プログラミング言語意味論，カテゴリー理論の応用，自動証明，検証，関数型言語，オペレーティングシステム，マルチメディアシステム)

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  オープンメディアプロジェクト (分散サービスプラットフォーム)，文部省科研費重点領域「超並列原理に基づく情報処理基本体系」(超並列オペレーティングシステム)，情報処理振興事業協会「開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業」マルチメディア統合基盤ソフトウェア (メディアサーバ)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学習指導

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会幹事，電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会幹事

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. "ToM マイクロ・カーネル"，電子情報通信学会論文誌，Vol.J75-D-I No.8, pp. 555–562, 1992.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. "超並列計算機のためのオペレーティングシステムの構想"，情報処理学会オペレーティグシステム研究会，1993 年 3 月 19 日.
  2. "マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価"，電子情報通信学会 信学技法 CPSY92-76 pp. 17–24, 1993.

- 氏名 (Name)
  福田忠彦 (Tadahiko Fukuda)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  生体情報論 I. 生体情報論 II. 知覚情報分析論, 研究会「視覚情報受容時の視線の分析」

- 研究分野 (Research Areas)
  人間工学 (生体反応とくに視線の動きに注目した視環境の他覚的評価), 視覚心理 (視野の機能)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  図書委員, ブロードキャスティング委員会委員, 新カリキュラム検討委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  人間工学会評議委員, 人間工学会視覚エルゴノミクス研究部会発起人、照明学会視覚研究専門委員会委員.SID(Society for information Display) プログラム委員会委員, 労働省産業医学総合研究所流動研究員、早稲田大学人間科学部客員研究員
  (所属学会) 電子情報通信学会, テレビジョン学会, 人間工学会, 照明学会,SID

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. T.Fukuda "Visual capability to receive character information Part-1 How many characters can we recoginize at a glance? " EROGONOMICS Vol.35 No.5/6
  2. T.Fukuda "Visual capability to receive character information Part-2 How long do we need to memorize the random characters briefly presented?" EROGONOMICS Vol.35 No.5/6

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 福田忠彦 「視覚計測と精神活動」 第 31 回エム・イー学会大会ワークショップ 精神活動の客観化 1992/5/3
  2. 福田忠彦 「大学における情報処理教育の環境と問題点」 照明学会視覚研究専門部会 1992/11/25
  3. 福田忠彦 「CFF に影響を及ぼす要因とフリッカーの見え方」 日本人間工学会システム関連シンポジューム 大学セミナーハウス 1993/3/27
  4. 土屋雅彦, 根本真一, 坂本英之, 畠山祐里, 高橋進一, 福田忠彦 「形状知覚と運動知覚によって生じる注視点決定のための視覚情報処理モデル」 1993 年電子情報通信学会 春季大会 名古屋大学 1993/3/30
  5. 福田忠彦 「高齢者の生理機能と発想法」 NHK 山口放送局 1992/9/10

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

  1. 福田忠彦 「目の動きと交通安全」 '92 予防時報 1992/4/1

- 氏名 (Name)
  藤幡正樹 (Masaki Fujihata)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 Hart, 映像環境論, コンピュータ・アート 2

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータ・アート, 映像制作, 彫刻制作, インタラクティブ・アート

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  国際アニメーション協会, 日本アニメーション協会, 国際コンピュータグラフィックスアート展審査委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  著作

1. 「脱着するリアリティー」共著　展覧会カタログ/NTT 出版/March,1992
2. 「読むべき箱」　第3回ビデオ・テレビ・フェスティバル・カタログ/Feb.,1992
3. 「イメージとスクリプト」　Symmetry 学会/ISIS/広島/August,1992
4. 「はみだした「リアリティー」」アンドレ・ブルトン特集　ユリイカ/青土社/Dec.,1991
5. 「見えない空間と我々の知覚」　メディア・エクスチェンジ/March,1992
6. 「ポロックの絵についたボタン」J・ポロック特集　ユリイカ/青土社/Feb.,1993
7. 「ひゅうららがリアリティーを分断するとき」　思想の科学/May,1993

作品制作, 発表 (List of Words and Exhibition)

1. 展覧会/「脱着するリアリティー」入江経一とコラボレーション　原宿スパイラル・ガーデン/ICC-NTT/March-April,1992
2. 展覧会/「チョウさん」3D 美術館準備室　美術手帳/美術出版社/March,1992
3. 展覧会/"APE Call from TOKYO"　原宿スパイラル・ホール/凸版印刷/April,1992
4. 展覧会/"EARTH 展"　新宿コニカ・プラザ/自然保護協会/June,1992
5. 展覧会/「動く絵」展 (現在も巡回中)
   広島市現代美術館 Aug.,1992/高松市美術館 Aug.,1992
   横浜美術館 Nov.,1992/キリンプラザ大阪 Feb.,1993
   徳島県立２１世紀館 May.,1993/名古屋市美術館 June.,1993
   シブヤ西武シードホール July.,1993/岡山県立美術館 Oct.,1993
6. 展覧会/たて組ヨコ組 10 周年記念ポスター展/「文字からのイマジネーション」　たて組ヨコ組企画委員会/株) モリサワ/July,1993
7. 表紙制作/「鉄腕アトム」全集全 15 巻　(現在も続行中)　講談社/1992,1993
8. 表紙制作/雑誌「レジュメクス」5 号/全イメージディレクション (表紙制作を含む)　リクルート/March,1992
9. 表紙制作/「データベース夜明け前」荒俣宏著　ジャストシステム/Sep.,1992
10. 表紙制作/雑誌「広告」　博報堂/March,1993

11. ポスター制作/日本文化デザイン会議'93 山形　浅葉克巳デザイン事務所/May,1993

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 講演:「禁断の果実:コンピュータによる立体制作」　IMAGINA'92/INA/MonteCarlo/Jan.,1992
2. シンポジウム:「ＴＶとアート表現」未来のメディア・スケープ　第３回ビデオ・テレビ・フェスティバル/原宿スパイラル/Feb.,1992
3. 講演:"ComputerSculpture",The Sculptor as Cybernaut 14th InternationalSculptureConference ISC/Philadelphia/June1992
4. 研究発表:「イメージとスクリプト」Symmetry 学会　ISIS/広島/August,1992
5. 研究発表:「２０世紀芸術のデータベースのためのインターフェイス研究」　慶応義塾大学/ICC-NTT/March.1993
6. 講演:「リプリゼンテーションとイクスプレッション」　ピクセル・フォーラム/CANON/June,1993
7. 研究発表:「芸術的表現技法」　VisualComputing'93/画像電子学会/June,1993

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 「動きだすフォルム」大森荘蔵と対談　美術手帳/美術出版社/Jan.,1992
2. 「フロンティア・オブ・コミュニケーション」　インターコミュニケーション誌/NTT 出版/Apr.1992
3. 「世界を遠目に」タイガー立石と対談　美術手帳/美術出版社/Aug.,1992
4. 「コンピュータの宇宙誌」荒俣宏, 紀田順一郎と対談　ジャストシステム/Sep.,1992
5. 「未知の形態への探検」　デザインの現場/美術出版社/Aug.,1992
6. 「MAC 対談」立花ハジメと対談　ＦＰ/学習研究社/Sep.1992
7. 「リアリティーの変容を感じさせる作品を作りたい。」　マックランチ (CD-Rom 版)/BNN/1993
8. てい談「画素人間」荒俣宏、中川政昭と，VI-PRO,club-pixel/CANON/June,1993

- 氏名 (Name)
  古川康一 (Koichi Furukawa)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I 講義、実習、情報処理言語 II (L), 人口知能論 I, 知識ベース論

- 研究分野 (Research Areas)
  論理プログラミング、並行論理プログラミング, 機械学習, 特に論理に基づく 機械学習, 機械による発見・創造

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  論理による発見・創造過程のモデル化に関する研究 (文部省, 科学技術研究費, 内定)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  新カリキュラム委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  人工知能学会評議員、ソフトウエア科学会評議員,Journal of New Generation Computing: Associate Editor,JIPDEC AI 動向調査委員会全体 技術動向WG主査

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
  雑誌論文

  1. Logic Programming as the Integrator of the Fifth Generation Computer Systems Project, Communication of the ACM, Vol. 35, No. 3, 1992.
  2. Summary of Basic Research Activities of the FGCS Project, Proc. FGCS'92, 1992.
  3. The Fifth Generation Project: Personal Perspectives, Communication of the ACM, Vol.36, No. 3, 1993.

- 氏名 (Name)
  丸田恵美子 (Emiko Maruta)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  生態学 a,b, 生態環境論

- 研究分野 (Research Areas)
  植物生態学, 大気化学

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  図書委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. フィールドウォッチング PartII-8, 北隆館,1992 年 7 月
  2. Growth and survival of Polygonum cuspidatum and Polygonum weyrichii seedings in the alpine area of Mt. Fuji. Proceedings of the NIPR Symposium on Polar Biology,5,1992
  3. Determination of chemical elements in deposition on the western north Pacific. Environmental Science,5.2,1992

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. ヤマシロギクの水分特性の生育地による可塑的変化, 第 39 回日本生態学会、1992 年 4 月
  2. 富士山における降水の化学成分の季節変化.1992 年日本気象学会春季大会, 1992 年 5 月
  3. 高山植物の生理生態,1992 年日本植物学会・自由式シンポジウム,1992 年 9 月
  4. 富士山の異なる標高域におけるオンタデの葉の形態・光合成の変化、第 15 回極域生物シンポジウム (国立極地研究所),1992 年 12 月

- 氏名 (Name)
  向井 国昭 (Kuniaki Mukai)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理 Ia, Ib 実習, 情報処理言語 II(ロジックプログラミング), 知識処理論 II, 自然言語論 II

- 研究分野 (Research Areas)
  情報の意味の数理論理的な研究 (状況理論/意味論, 超集合論, 知識表現, 制約論理プログラミング)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  CDP 委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  言語獲得と概念形成過程の工学的モデル化研究専門委員会委員 (電子情報通信学会, 文部省科研費総合研究),

  JALLI (Japanese Afiliation of Language, Logic, and Information) の設立メンバの一人. (JALLI は情報・論理・言語の統合を目指した学際的研究グループ),

  (他に, 92 年度日本ソフトウェア科学会全国大会プログラマム委員 (会計担当), FGCS'92 プログラム委員会 (査読委員). などあり.)

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 状況と態度, 産業図書, 1992. (共訳)
  2. 状況理論の数学的基礎—Aczel の構造化オブジェクト理論—, 人工知能学会誌, vol.7. No.3, 5. (レフェリーつき解説論文)

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 情報の包摂関係の余代数モデル, 情報処理学会, 情報学基礎 28-7, 1992. 11.9 (大阪大学)
  2. An algebraic generalization of information subsumption, March, 1993. (ドイツ,Dagstuhl セミナ-)

- 氏名 (Name)
  村井純 (Jun Murai)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I. II, コミュニケーションネットワーク論

- 研究分野 (Research Areas)
  コンピュータコミュニケション, オペレーティングシステム

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  WIDE (大規模広域分散環境の構築に関する研究)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  環境情報研究所運営委員, データベース委員会委員, 学部新カリキュラム委員会委員, 教材・教授法開発委員会委員,CNS 委員会委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  国際理学ネットワーク (TISN) 委員会委員, 国際理学ネットワーク (TISN) 委員会運営協議会委員, 衛星データ利用専門委員会委員, 学術研究情報ネットワークの整備方針検討部会委員, 学術情報センターインターネット研究会委員, 広帯域情報ネットワーキング部会専門委員, ハイパーネットワーク社会研究所評議委員, 日本サンユーザグループ副会長, 情報処理学会マルチメディア通信と分散環境研究会連絡委員, 情報処理学会 SSI/POSIX WG 小委員会幹事, 立石科学振興財団選考委員, 日本 UNIX ユーザ会副会長, 日本ネットワークインフォメーションセンター 理事, センター長, 運営委員, 日本科学技術情報センター研究情報ネットワーク検討委員会委員, 東京大学大型計算機センタネットワーク小委員会委員, 研究ネットワーク連合委員会幹事, 技術部会代表, (財) 京都高度技術研究所中期行動計画委員会ワーキンググループメンバー, Internet Architecture Board 委員, Internet Engineering Planning Committee 委員, Pacific Cordinating Committee for Research Networks 委員, Pacific Engineering Planning Committee 議長, Japan Engineering Planning Committee 議長, Interop Technical Advisary Committee 委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. UNIX　ワークステーション (アスキー社)
  2. Construction of the Widely Integrated distributed Enviroment, TENCON'89, IEEE
  3. Construction of Internet for Japanese Academic Communities '89.ACM

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. Jun Murai, Hiroyuki Kusumoto, Masaki Hirabaru, WIDE Project Overview: Status Report of 1992, Proceedings of iNET'92, June 15-18, Kobe, Japan(全文査読のもの)

- 氏名 (Name)
  森川英太朗 (Hedetaro Morikawa)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  創作過程論、表現伝達論

- 研究分野 (Research Areas)
  社会的システムにおけるサービスソフト, 社会的合意達成のソフトテクノロジー,
  Tele-Communication&Video, Interactive-Tv, 映像ソフト (映画・TV) 企画・脚本・ 製作・監督

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  AV 環境委員会・委員, 図書委員会・委員, 慶應義塾大学新聞研究所・運営委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
  日本マスコミュニケーション学会・会員, 日本アカデミー賞・会員, (財) ニューメディア 開発協会・情報システム開発委員

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 私立大学図書館協会・第５３回総大会、講演, 「映像情報の可能性と図書館」 (会報所載 92 年 12 月)

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

  1. システム開発; 東京女子医科大学心臓血管研究所・システム開発「心臓カテーテル映像 ・ハィビジョン映像・ハィビジョン映像への転換・送信」
  2. 映像情報システム (Hi-Ovis) 基本開発
  3. CAPTAIN システム・ソフト、基本開発
  4. 第２回モントレー映画祭・HDTV ドラマ部門・グランプリ受賞

- 氏名 (Name)
  安村通晃 (Michiaki Yasumura)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I. IIp, インターフェイス設計論, 研究会 I, II

- 研究分野 (Research Areas)
  ヒューマンインターフェイス, 並列ソフトウェア, プログラミング言語

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  超並列コンパイラ, 福祉コンピュータインターフェイス, 創造学習環境, メタファー,YUK インターフェイス, 他

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  学事振興資金第一委員会委員, 情報処理教育室運営委員, 学部運営委員会委員. 環境情報研究所運営委員, 新大学院実行委員会委員, メディアセンター協議会委員,CNS 委員, コンソーシアム運営協議会委員, キャンパス・ウォッチャーズ委員, 湘南藤沢学会幹事,SFC ローカルガイド編集委員, Mac ユーザ会委員.SFC 周辺開発委員, オープンメディア研究プロジェクト運営委員, 他.

- 学外役員・委員等 (Professional Activities)
  情報処理学会欧文誌編集委員, 情報処理学会プログラミング-言語・基礎・実践-研究会主査, 情報処理学会記号処理研究会連絡委員, 情報処理学会夏のシンポジウム幹事, 日本ソフトウェア科学会'92 大会運営委員長. Parallel Computing 編集委員, '92 並列処理シンポジウム (JSPP) 副委員長, 日本電子工業振興協会 JIS 言語調査研究委員会 LispWG 委員, 情報処理学会規格調査委員会 LispWG 委員, その他.

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 訳書　コンパイラ構成論, 近代科学社, (91 Dec).
  2. 共著　プログラミングガイド-Pascal 編, 近代科学社, (92 March).
  3. 共著　パネル討論: 永続的プログラミング言語とオブジェクト指向データベース, 情報処理学会誌, Vol. 33, No. 10, (92 Oct).

- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)

  1. 共著　超並列計算機用 Fortran コンパイラの設計と試作, 情報処理学会プログラミング研究会,(93 March).

- 解説・批評等 (Survey Papers and Crxitiques)

  1. コンピュータサイエンスの先端分野 (1), bit, Vol. 24, No. 6, (92 June).

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

  1. '92 SFC Award (92 March).

- 氏名 (Name)
  厳 網林 (Wanglin Yan)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  情報処理言語 I

- 研究分野 (Research Areas)
  地理情報の処理、都市計画、環境計画

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. 「地理情報システムとエキスパートシステムを用いた用途地域指定支援システム」応用測量論文集第１巻第１号, １９８９年７月
  2. 「知識ベースに基づく用途地域指定支援システム」土木学会論文集第 425 号/IV－１４, １９９１年１月
  3. 「A Knoledge-based Computer System for Zoing」Computers, Enviroment, and Urban Systems, Vol.15, No.2, 1991.12 学会発表 (査読付) ・「居住環境整備計画支援システムの開発と利用」 土木計画学研究・講演集第１４巻, １９９１年１１月 ワークショップ発表 ・「市街地整備のための居住環境評価支援システム」 都市・地域計画における地理情報システムの利用に関するワークショップ, １９９１年 １１月

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

  1. 「居住環境整備計画支援システムの開発と利用」土木計画学研究・講演集第１４巻, １９９１年１１月
  2. ワークショップ発表　「市街地整備のための居住環境評価支援システム」
     都市・地域計画における地理情報システムの利用に関するワークショップ, １９９１年 １１月

- 氏名 (Name)
  渡辺利夫 (Toshio Watanabe)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
  心理学, 人間行動論, 認知科学, 情報処理言語 I,II

- 研究分野 (Research Areas)
  心理学

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
  人間情報環境プロジェクト (SFC 研究コンソーシアム), 乗用車購入における消費者の欲求分析に関する調査

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
  環境情報研究所運営委員, 学習指導副主任, メディアセンター協議会委員, 図書委員会委員, ネットワークシステム委員会委員.3 技法カリキュラム委員, 教材・教授法開発委員, 学部新カリキュラム委員会委員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

  1. Indow, T. & Watanabe, T. 1984a Parallelalleys and distance – alleys on horopter plane in the dark. Perception 13, 165–182.
  2. Indow, T. & Watanabe, T. 1984b Prallel – and distance – alleys with moving points in the horizontal plane. Perception & Psychophysics 35, 144–154.
  3. Indow, T. & Watanabe, T. 1988 Alleys on an extensive apparent frontoparallel plane : a second experiment. Perception 17, 647–666.

慶應義塾大学 環境情報研究所 1992年度 年次報告書
Annual Report 1992 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

創刊　1993年6月
著者　慶應義塾大学　環境情報研究所
〒252 神奈川県藤沢市遠藤5322 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 環境情報研究所
(電話)0466-47-5075　(FAX)0466-47-5085
発行者　湘南藤沢学会
編者　武藤佳恭
印刷所　(有)プリカ